

NEC

P C 9 8 -



PC98-**NX** SERIES

VersaPro

(Windows NT® 4.0 インストール)

活用ガイド ソフトウェア編

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの追加と削除

パソコンのメンテナンスと管理

トラブル解決Q&A

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



『はじめにお読みください』

このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。

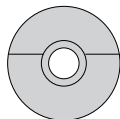
- ・型番の確認
- ・添付品の接続
- ・Windowsのセットアップ
- ・マニュアル紹介



『活用ガイド 再セットアップ編』

このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。

- ・再セットアップの方法



『マニュアル CD-ROM』

『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』がPDF形式で収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

『活用ガイド ハードウェア編』

このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について

『活用ガイド ソフトウェア編』

アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。

- ・アプリケーションの利用方法
- ・トラブル解決Q&A



はじめに

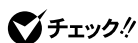
このマニュアルは、パソコンにインストールまたは添付されているアプリケーションについて説明しています。

また、パソコンを使用中にトラブルが起こったときの対応や解決方法について説明しています。

2001年 1月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。



トラブルを解決するために確認の必要があることや、チェックポイントなどを示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

コンパ外オールインワンノート	VA80J/WX、VA70J/WX、VA70J/WS、VA70H/WX、VA65H/WT、VA65H/WS
ハイスベックノート	VA85J/AF、VA70J/AF
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。
ワイヤレスモデル	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、別売のワイヤレスモデムステーションやAtermIWシリーズと無線通信が可能なモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
Office 2000 Personalモデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000 Professionalモデル	Office 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
暗証番号機能モデル	セキュリティ用の暗証番号入力機能を搭載したモデルのことです。

内蔵指紋センサモデル	指紋センサを内蔵しているモデルのことです。
【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「スタート」ボタン 「プログラム」 「アクセサリ」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「プログラム」を選択し、横に現れるサブメニューから「アクセサリ」を選択する操作を指します。
「コントロールパネル」を開く	「スタート」ボタン 「設定」 「コントロールパネル」をクリックする操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows NT	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版 または Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows 3.1	Microsoft® Windows® operating system Version 3.1 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
インターネット エクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 4.01 SP2 または Microsoft® Internet Explorer 5.01
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook® 2000, Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional(Microsoft® Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook® 2000, Microsoft Power Point® 2000, Microsoft Access 2000, Microsoft Publisher 2000, Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 95/NT
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
DirectCD	DirectCD™ 3

本文中の表記	正式名称
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader 4.05
スーパーディスク	Super Disk™
VirusScan	VirusScan Ver 4.5

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本書に記載のイラストや画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

その他の注意

本書では、「インターネットエクスプローラ4.01」を利用している場合の操作を中心に記載しています。ご購入後、「インターネットエクスプローラ5.01」をインストールしてご利用の場合には、画面や操作手順が異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク・ロゴは参加各国の間で統一されています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

レーザー安全基準について

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルには、レーザーに関する安全基準（JIS-C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが内蔵されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス NEC UltraCareSM International Service 対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については以下のホームページをご覧ください。
<http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/>
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft[®] Windows NT[®]は、本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません (Intellisyncを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Outlook、Windows Media、Power Point、Book-shelfおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VirusScanは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPIは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBMが所有している商標です。

SuperDiskはImation社の商標です。

pcAnywhereはSymantec Corporationの米国における登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

IntelおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。

Intel[®] LANDesk[®] Client Manager (with NEC Extensions)は、Intel[®] LANDesk[®] Client Managerのテクノロジーを使用しています。

AdaptecおよびAdaptec社のロゴは、Adaptec, Inc.の登録商標です。

Easy CD Creator、DirectCDは、Adaptec, Inc.の商標です。

PGPは米国法人Network Associates, Inc.またはその関係各社の米国またはその他の国における登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2001

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。(ただし、海外保証サービス[NEC UltraCareSM International Service]対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCareSM International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

添付アプリケーションについて 15

添付アプリケーションの紹介 16

 本機に添付のアプリケーション 16

アプリケーションを使う前に 18

 Office 2000 Personal 18

 Office 2000 Professional 19

 インターネットエクスプローラ 20

 Outlook Express 21

 インターネット設定切替ツール 21

 DirectCD 21

 Easy CD Creator 22

 Acrobat Reader 22

 Intellisync 22

 マニュアルCD-ROM 27

 VirusScan 28

 CyberAccess 30

 Intel® LANDesk® Client Manager (with NEC Extensions) 34

 Masty Data Backup 35

 pcAnywhere 9.2 EX 36

 PGP Personal Privacy 36

 ワンタッチスタートボタンの設定 38

添付アプリケーションの追加と削除 39

追加の前に 40

 追加するときの注意 40

 追加の準備 40

 「Microsoft Windows NT 4.0日本語版Service Pack 6a」について 41

追加のしかた 42

 Office 2000 Personal 42

 Office 2000 Professional 42

 インターネットエクスプローラ 43

 インターネット設定切替ツール 44

 DirectCD/Easy CD Creator 45

 Acrobat Reader 46

 Intellisync 47

 VirusScan 48

CyberAccess.....	48
Intel® LANDesk® Client Manager ㄨ(with NEC Extensions)	50
Masty Data Backup	52
pcAnywhere 9.2 EX	52
PGP Personal Privacy	53
削除の前に	55
削除するときの注意	55
削除の準備	55
アイコン削除の準備	56
削除のしかた	58
Office 2000 Personal	58
Office 2000 Professional	60
インターネット設定切替ツール	63
DirectCD/Easy CD Creator	64
Acrobat Reader	64
Intellisync.....	65
VirusScan	66
CyberAccess.....	66
Intel® LANDesk® Client Manager ㄨ(with NEC Extensions)	67
Masty Data Backup	67
pcAnywhere 9.2 EX	68
PGP Personal Privacy	69
パソコンのメンテナンスと管理	71
パソコンをウイルスから守る	72
コンピュータウイルスとは	72
VirusScanを使ってウイルスを駆除する	74
データのバックアップをとる	76
バックアップとは	76
バックアップが必要なデータ	76
バックアップをとるタイミング	77
バックアップ先について	77
バックアップの手順	78
ハードディスクのメンテナンス	79
ハードディスクのメンテナンスをする	79

PART

4

トラブル解決 Q&A	81
はじめて電源を入れたとき	82
電源を入れたとき	84
電源を切るとき	89
省電力機能	91
バッテリー	93
表示	94
NXパッド	96
文字入力	98
ファイル保存	100
ネットワーク(LAN)	101
赤外線通信	103
印刷	104
フロッピーディスク / スーパーディスク	106
ハードディスク	109
CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-ROM	112
周辺機器	116
アプリケーション	117
その他	121

PART

5

付録	123
他のOSを利用する	124
Windows Meを使う.....	124
Windows 98/Windows 98 Second Editionを使う	125
Windows 2000 Professionalを使う	128
アフターケアについて	130

索引	133
----------	-----

トラブル解決 Q&A内容一覧	134
索引	137
トラブルチェックシート	139

P A R T

1

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの用途、使用上の注意事項、必要な設定などを説明します。

添付アプリケーションの紹介

本機に添付のアプリケーション

本機には、次のようなアプリケーションが添付されています。

アプリケーションCD-ROMや専用CD-ROMに格納されているアプリケーションを使うときは、PART2の「追加のしかた」の手順にしたがってアプリケーションをハードディスクにインストールしてください。

- : プリインストール
- 1 : バックアップCD-ROM#3に格納
- 2 : アプリケーションCD-ROMに格納
- 3 : 専用CD-ROMに格納
- 4 : マニュアルCD-ROMに格納

おもな機能	アプリケーションの名称	添付形態
ワープロ、表計算、スケジュール管理など	Office2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)	
	Office2000 Professional(Office 2000 Professionalモデルのみ)	
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer5.01	1
	Internet Explorer4.01 SP2	
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express	
インターネット環境切り替えツール	インターネット設定切替ツール	2
CD-R、CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	DirectCD(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	3
CD-R、CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	Easy CD Creator(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	3
PDFファイルの表示 / 印刷	Acrobat Reader	2
赤外線通信	Intellisync	2
VersaPro用電子マニュアル	マニュアルCD-ROM	4
ウイルスチェック / 駆除	VirusScan	2

おもな機能	アプリケーションの名称	添付形態
システム設定ツールへのアクセス制御	CyberAccess	2
パソコンの保守	Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)	2
ファイルバックアップ	Masty Data Backup	2
リモートメンテナンスツール	pcAnywhere 9.2 EX	2
暗号化ソフト	PGP Personal Privacy	2
ワンタッチスタートボタンの設定ツール	ワンタッチスタートボタンの設定(コンパクトオールインワンノートのみ)	



アプリケーションを使う前に

アプリケーションを使う前に知っておいていただきたいこと、使用上の注意事項、機能の概要、必要な設定などについて説明します。

Office 2000 Personal

Office 2000 Personalは、Office 2000 Personalモデルのみにプリインストールされています。

Office 2000 Personalは、次のアプリケーションで構成されています。

- ・Excel 2000(表計算ソフト)
- ・Word 2000(ワープロソフト)
- ・Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)

初回起動時の設定

ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。

必要な情報を入力してください。

- ・「ユーザー名」、「所属」には、Windowsのユーザー情報が表示されています。
- ・CDキーは「Office 2000 Personal添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると「Microsoft Office 2000 PersonalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

Outlook 2000の設定

Outlook 2000を初めて起動したときには、「Outlook 2000スタートアップ」の画面が表示されます。次の手順で設定してください。



チェック!!

購入後、はじめてOutlook 2000を起動する場合は、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてからOutlook 2000を起動してください。

- 1 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
「メール サービス オプション」の画面が表示されます。
- 2 「企業 / ワークグループ」を選び「OK」ボタンをクリックする
「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

Office 2000 Professional

Office 2000 Professionalは、Office 2000 Professionalモデルのみにインストールされています。

Office 2000 Professionalは、次のアプリケーションで構成されています。

- ・ Excel 2000(表計算ソフト)
- ・ Word 2000(ワープロソフト)
- ・ Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)
- ・ PowerPoint 2000(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- ・ Access 2000(データベース管理ソフト)
- ・ Publisher 2000(DTPソフト)
- ・ 顧客データマネージャ 2000(顧客情報管理ソフト)
- ・ Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

初回起動時の設定

Outlook 2000の設定

Outlook 2000をはじめて起動したときには、次の手順で設定が必要です。

- 1 「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
「メール サービス オプション」の画面が表示されます。
- 2 「企業 / ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする
「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動する場合、または「Outlook 2000スタートアップ」の設定後にはじめてOutlook 2000を起動する場合、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。

必要な情報を入力してください。

- ・「ユーザー名」、「所属」には、Windowsのユーザー情報が表示されています。
- ・CDキーは「Office 2000 Professional 添付品」に記載されています。

オフィシャルユーザ登録

ユーザ情報の登録後、Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動すると、「Microsoft Office 2000 ProfessionalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

インターネットエクスプローラ

- ・本機では、インターネットエクスプローラ4.01 SP2以降、インターネットエクスプローラ4.0と記載)とインターネットエクスプローラ5.01(以降、インターネットエクスプローラ5と記載)を使用することができます。
- ・ご購入時には、インターネットエクスプローラ4.0がインストールされています。インターネットエクスプローラ5を利用するには、PART2の「追加のしかた」の「インターネットエクスプローラ」(p.43)をご覧ください、インストールを行ってください。
- ・インターネットエクスプローラを使用する場合、インターネット接続ウィザードを使用してThe Microsoft Network、または他のインターネットサービスプロバイダのアカウントを登録する必要があります。
- ・Windows NT 4.0でのOffice 2000 Personal、およびOffice 2000 Professionalの必要動作条件がService Pack 3以上(Internet Explorer 4.01 Service Pack 1以上)が必要。Internet Explorer 5以上を推奨。)であるため、Office 2000 Personal、またはOffice 2000 Professionalをお使いの方はInternet Explorer 4.0を削除しないでください。Internet Explorer 4.0を削除したい場合は、先にOffice 2000 Personal、またはOffice 2000 Professionalを削除してください。

- ・ Internet Explorer 4.0を削除して再起動時に「W:¥にはアクセスできません。このフォルダは移動または削除されました。」と表示される場合があります。このメッセージが表示された場合は、「OK」ボタンをクリックして次へ進んでください。システムには影響ありません。
- ・ Windows NT 4.0でのOffice 2000 Personal、およびOffice 2000 Professionalの必要動作条件がService Pack 3以上(Internet Explorer 4.01 Service Pack 1以上が必要。Internet Explorer 5以上を推奨。)であるため、Office 2000 Personal、またはOffice 2000 Professionalをお使いの方で、Internet Explorer 4.0を削除してからInternet Explorer 5を追加した場合は、Internet Explorer 5は削除しないでください。Internet Explorer 5を削除したい場合は、先にOffice 2000 Personal、またはOffice 2000 Professionalを削除してください。
- ・ インターネットエクスプローラに最新のコンポーネントを追加したいときは、PART2の「追加のしかた」の「インターネットエクスプローラ」(p.43)をご覧ください。

Outlook Express

Outlook Expressは、広く利用されている多機能な電子メールソフトです。アドレス帳機能や署名機能を使い、メールアドレスの管理や、送付メールへの署名追加なども簡単に行えます。

インターネット設定切替ツール

インターネット設定切替ツールを使うと、複数のダイヤルアップ接続を使い分けたり、ダイヤルアップ接続からLAN接続へ切り替えたりと、利用シーンに応じて通信環境を切り替えることができます。パソコンを携帯して、外出先でインターネットを利用するときなどに便利な機能です。

参照 インターネット設定切替ツールについて 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」

DirectCD

DirectCDは、CD-R/RWモデルとCD-R/RW with DVD-ROMモデルに添付されています。

DirectCDを使うと、フロッピーディスクやハードディスクと同じような感覚でCD-RやCD-RWにデータを保存したり移動したりすることができます。簡単にデータを保存することができるので、データのバックアップなどに適しています。

参照 DirectCDの使いかたについて 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」

チェック!! ご利用になるときは、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてください。

Easy CD Creator

Easy CD Creatorは、CD-R/RWモデルとCD-R/RW with DVD-ROMモデルに添付されています。

Easy CD Creatorは、CD-RやCD-RWにデータを書き込むことができるアプリケーションです。

Easy CD Creatorで書き込んだCD-RWは、マルチリード対応のCD-ROMドライブで読み出すことができます。

参照 Easy CD Creatorの使いかたについて 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」

チェック!! ご利用になるときは、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてください。

Acrobat Reader

PDF形式のファイルを表示したり印刷したりすることができます。

このパソコンに添付のアプリケーションの中には、ヘルプなどを参照するときにAcrobat Readerが必要なものがあります。

Intellisync


設定を行う前に

Intellisyncの設定を行う前に、次の点をご確認ください。


- ・ Intellisyncで赤外線機能をお使いになる場合は、赤外線の接続設定を行う前に、必ず『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」の「赤外線通信を行う前に」をご覧ください。
- ・ 通信相手のパソコンにIntellisyncがインストールされていない場合には、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って相手のパソコンにIntellisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Intellisync（ p.47 ）」をご覧ください。

- ・相手のパソコンにIntellisyncをインストールする前に本機に添付の「ソフトウェア使用条件適用一覧」の「Intellisync ソフトウェアのご使用条件」をご覧ください。ただし、相手のパソコン上でのIntellisyncの動作を保証するものではありません。
- ・Intellisyncのユーザマニュアルをご覧になるには、Acrobat Readerが必要です。Acrobat Readerのインストールの方法は、PART2の「追加のしかた」の「Acrobat Reader」(p.46)をご覧ください。
- ・Intellisyncで赤外線通信を使う設定を行った後に、BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「使用しない(Disabled)」に変更する場合には、次の「Intellisyncの赤外線接続設定を無効にする」をご覧ください、設定を無効にしてから実施してください。

Intellisyncの赤外線接続設定を無効にする

-  **チェック!!** Intellisyncで赤外線通信を使う設定を行った後に、BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「使用しない(Disabled)」に変更する場合には、Intellisyncの赤外線接続設定を無効にしてから実施してください。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Intellisync」の「接続設定マネージャ」をクリックする

-  **チェック!!** 「Intellisync使用許諾同意書」が表示されたら、内容をよく読み「承諾する」ボタンをクリックしてください。

2 「はじめに-接続設定マネージャ」が表示されたら、「閉じる」ボタンをクリックする

3 「接続設定マネージャ」が起動したら、「ローカルデバイス」タブをクリックし選択する

4 「赤外線デバイス」の左の☐をクリックする 使用している赤外線デバイスが表示されます。

- ・ハイスペックノートの場合
「NEC FIR port model 03」
- ・上記以外のモデルの場合
「NEC FIR port model 04」

5 ハイスpek ノートの場合はデバイス「NEC FIR port model 03」を、その他のモデルの場合はデバイス「NEC FIR port model 04」を右クリックし、表示されたメニューから「無効にする」をクリックする

6 「OK」ボタンをクリックする

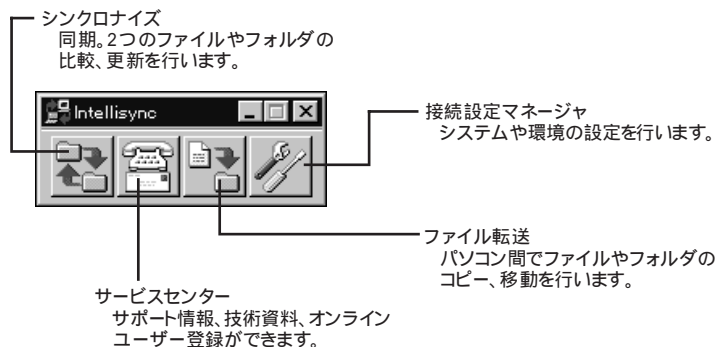
Intellisyncの設定

Intellisyncの設定は、Intellisyncランチャーを使って行います。

Intellisyncランチャーの起動

1 「スタート」ボタン「プログラム」「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリックする

2 「はじめに-Intellisync」の画面で「OK」ボタンをクリックする
「Intellisyncランチャー」が表示されます。



ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

1 Intellisyncランチャーを起動する

2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

- 3 「はじめに-接続設定マネージャ」が表示されたら「閉じる」ボタンをクリックする
- 4 「ローカルデバイス」タブをクリックする
- 5 接続に使用するデバイスのアイコンの左側の田字マークをクリックし、表示されたデバイス名をクリックする
デバイスの詳細については、下記の「接続設定」をご覧ください。また、「赤外線デバイス」に田字マークが表示されていないときは、下記の「接続設定」の「赤外線 (IR) 接続設定」をご覧ください。赤外線の設定を行ってください。
- 6 「プロパティ」ボタンをクリックする
- 7 「ポートのプロパティ」画面で「接続を可能にする」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする

接続設定

パソコン間を赤外線またはシリアルポートで接続することができます。

・赤外線 (IR) 接続設定


本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、手順1から設定を行ってください。

- 1 COMポートに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート (IRポート) が向かい合うようにパソコンを設置する

参照 設置時の注意 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」


- 3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」タブをクリックする






- 4 「赤外線デバイス」を右クリックする
 - 5 「IRウィザード」をクリックする
 - 6 「赤外線の設定」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
 - 7 デバイスのリストから使用するデバイスを選び、「次へ」ボタンをクリックする
本機内蔵の赤外線デバイスを使うときは、次のデバイスを選んでください。
 - ・ ハイスペックノートの場合
「NEC FIR port model 03」
 - ・ 上記以外のモデルの場合
「NEC FIR port model 04」
 - 8 「IrCommポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
 - 9 「IrLPTポートの選択」で「None」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
 - 10 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする
 - 11 「接続設定マネージャ」画面で、「OK」ボタンをクリックする
 - 12 再起動を促す画面が表示された場合は、本機を再起動する
- ・ シリアルケーブル接続設定
使用するパソコン両方に同じ設定をします。
- 1 COMポート(シリアルポート)に別売のシリアルケーブルを接続する
ケーブルの長さは6m以下にしてください。
 - 2 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

- 3 シリアルケーブルの左の  をクリックする
- 4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする
- 5 「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする
- 6 「接続設定マネージャ」で「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの左の  をクリックする
表示されたマークで確認します。


マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されていない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

マニュアルCD-ROM

添付の「マニュアルCD-ROM」をセットすると、『活用ガイド ハードウェア編』『活用ガイド ソフトウェア編』『環境ガイド』などのマニュアルを画面上で見ることができます。

「マニュアルCD-ROM」を見るには、あらかじめAcrobat Readerをインストールしておく必要があります。

VirusScan

 **チェック!!** 本機に添付のVirusScanでは、エマージェンシーディスクの作成はできません。

定期的にウイルス検査を行う

VirusScanには、定期的にウイルス検査を行う機能があります。この機能を使うには、次の手順でVirusScanコンソールを起動します。

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Network Associates」の「VirusScan コンソール」をクリックする
プログラムが起動します。
- 2** 定期検査用のタスクを作成する
タスクの作成方法は、オンラインヘルプをご覧ください。

VirusScanの設定

システムスキャンを有効にする

VirusScanには、Windows上で操作するファイルがウイルスに汚染されていないか監視する機能があります。システムスキャンを有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Network Associates」の「VirusScan コンソール」をクリックする
- 2** タスクの一覧の「VShield」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックする
「タスクのプロパティ」が起動します。
- 3** 「タスクのプロパティ」の「プログラム」タブの「設定」ボタンをクリックする
「システム スキャン プロパティ」が起動します。
- 4** 「システム スキャン プロパティ」の「スキャン」タブの「システムスキャンを有効」をクリックし、チェックを付ける
- 5** 「システム スキャン プロパティ」の「OK」ボタンをクリックする

6 「VShield コンフィグレーション マネジャ」画面が表示されたら、
「はい」ボタンをクリックする

7 「タスクのプロパティ」の「OK」ボタンをクリックする

8 「VirusScan コンソール」画面を閉じる

9 本機を再起動する

システムスキャンを無効にする

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Network Associates」の
「VirusScan コンソール」をクリックする

2 タスクの一覧の「VShield」を右クリックし、表示されるメニューの
「プロパティ」をクリックする
「タスクのプロパティ」が起動します。

3 「タスクのプロパティ」の「プログラム」タブの「設定」ボタンをク
リックする
「システム スキャン プロパティ」が起動します。

4 「システム スキャン プロパティ」の「スキャン」タブの「システム
スキャンを有効」をクリックし、☐にする

5 「システム スキャン プロパティ」の「OK」ボタンをクリックする

6 「VShield コンフィグレーション マネジャ」画面が表示されたら、
「はい」ボタンをクリックする

7 「タスクのプロパティ」の「OK」ボタンをクリックする

8 「VirusScan コンソール」画面を閉じる

9 本機を再起動する

CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、ドライブやフォルダ、ファイルを隠し、デスクトップを単純化および、操作可能なアプリケーションを限定することができます。アプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対応付けることができるので、複数のモードを使い分けることができます。

モード

CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

モード	機能
エキスパートモード	CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
アドバンスモード	コンピュータのシステムのすべてを利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
ベーシックモード	システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
セキュリティモード	CyberAccessで設定することができるすべての機能制限が設定されます。
新規作成モード	CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

CyberAccessをインストールするときに「カスタム」セッアップを行うことで、このモードを利用するかどうかを選択することができます。「標準」セッアップを行った場合は、このモードを利用することはできません。セッアップについて詳しくは、PART2の「追加のしかた」の「CyberAccess」（p.48）をご覧ください。

新規モードの作成

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。



チェック!! ネットワークを利用した集中管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver3.0」が必要です。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で
「モードの変更」をクリックする
次の画面が表示されます。



- 2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。
- 3 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする
「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。
- 4 「モード」タブをクリックする
- 5 「新規作成」ボタンをクリックする
モード作成ウィザードが起動します。
- 6 新規作成するモード名を入力する
- 7 「モードアクセスをパスワードで確認」にチェックし、パスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 8 モードに設定する制限項目を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 9 モードに設定する単純化項目を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 10 ドライブを隠す場合は、隠すドライブの ☐ をクリックして ☒ にする
すべてのドライブを隠す場合は「全てのドライブを隠す」を ☒ にします。

11 ファイル / フォルダを隠す場合は、「追加」ボタンをクリックする
フォルダとファイルのどちらを隠すかというドロップダウンメニューが表示されたら、「フォルダ」が「ファイル」のどちらかを選んでください。

12 ドライブ / ファイルを隠す設定が終了したら「次へ」ボタンをクリックする

13 アプリケーションの利用制限を行う場合は「下記のプログラムのみ使用可能」にチェックし、「追加」ボタンをクリックして利用させるアプリケーションを設定する

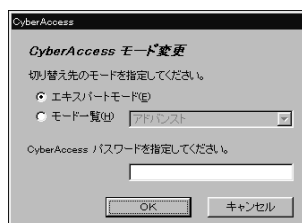
■ アプリケーションの利用制限を行わない場合はこの操作は不要です。

14 設定が完了したら「完了」ボタンをクリックする

モードの編集

作成したモードを編集します。

1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする
次の画面が表示されます。



2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。

3 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で
「利用環境の設定」をクリックする
「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。

4 「モード」タブをクリックする

- 5** 「CyberAccess モード」一覧から、編集するモードをクリックし、
「編集」ボタンをクリックする
「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。

- 6** 編集内容にしたがって各タブをクリックし、項目を変更する

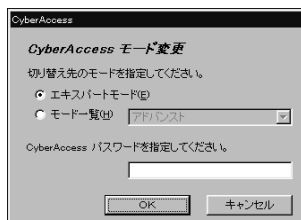
各項目設定については、「新規モードの作成」の手順6～13(p.31～32)
を参照してください。

- 7** 「OK」ボタンをクリックする

モードの切り替え

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

- 1** 「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」で
「モードの変更」をクリックする



- 2** 「モード一覧」をクリックする

- 3** [▼] をクリックし、切り替えるモードをクリックする

- 4** 「OK」ボタンをクリックする
システムがログオフし、モードが切り替わります。

CyberAccessには、任意のドライブやフォルダ、ファイルを隠す機能や、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「スタート」ボタン 「プログラム」 「CyberAccess」の「CyberAccess ヘルプ」をご覧ください。

Intel® LANDesk® Client Manager ㄨ with NEC Extensions)

- ・ Intel® LANDesk® Client Manager ㄨ with NEC Extensions) は、管理方法として、標準化団体 DMTF(Distributed Management Task Force) が規定した DMI(Desktop Management Interface) を採用しています。
- ・ 使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は、注意が必要です。詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。
- ・ Intel® LANDesk® Client Manager ㄨ with NEC Extensions) は、起動に3分程度かかります。各種機能(「このコンピュータを管理する」、「DMITool互換」など)を使用する場合は、OS起動後しばらく待ってからこれらの機能をご使用ください。Intel® LANDesk® Client Manager 6 (with NEC Extensions) を削除する場合も、OS起動後しばらく待ってから行ってください。

Intel® LANDesk® Client Manager ㄨ with NEC Extensions) の機能

Intel® LANDesk® Client Manager ㄨ with NEC Extensions) は、以下の機能により構成されています。

- ・ Webブラウザによる情報表示
- ・ システムビューアによる情報表示

操作方法や表示画面については、オンラインヘルプ、ユーザズガイド、リリースノートおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。

NEC拡張機能とは

Intel® LANDesk® Client Manager ㄨ with NEC Extensions) に対して、NEC独自に拡張した機能です。

拡張した機能には、次のようなものがあります。

- *1 標準状態でインストールされます。
- *2 標準状態でインストールされません。
- *3 「DMITool互換画面」を選択すると、自動的にインストールされます。インストールしたくない場合は、「DMITool互換画面」のチェックボックスのチェックを外してください。

インストールする機能を追加 / 削除するためには、「NEC拡張機能」を選んで「変更」ボタンをクリックしてください。

DMIT00L互換画面 *1

DMIT00L互換のユーザインターフェイス(システムビューワ、MIFブラウザ、SMBIOSブラウザ、資産管理ブラウザ)を使用可能にします。

USB接続デバイス一覧 *1 *3

USBに接続されているデバイスの一覧を表示可能にします。

モデム一覧 *1 *3

Windowsにセットアップされているモデムの一覧を表示可能にします。

プリンター一覧 / プリント監視 *1 *3

接続されているプリンタの一覧表示と、プリンタの状態監視を可能にします。

拡張資産管理 *1 *3

Intel® LANDesk® Client Manager &(with NEC Extensions)の資産管理機能に、リース情報 / 棚卸し管理を追加し、リース / 棚卸し管理を可能にします。

H/W変更監視 *2

HDD/CPU/メモリが変更された場合に、警告を表示する機能を提供します。

T00L連携 *2

コンピュータの異常を検出したときに、バックアップツールなどの起動やシステムのシャットダウンを行う機能を提供します。

連携するツールは、インストールするOSに合わせて標準で設定されていますが、標準の設定から変更する場合は、インストール後、「NEC Extensionsリソースノート」の「T00L連携について」を参照してください。

SMBIOS情報 *2

SMBIOS情報を管理者などの他のコンピュータから参照可能にする場合は、このコンポーネントをインストールしてください。

Masty Data Backup

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を未然に防ぐツールです。

Masty Data Backupには次のような機能があります。

- ・OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスクなど)にデータをバックアップできます。
- ・日付 / 曜日 / 時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- ・データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- ・複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- ・世代管理ができます。
- ・S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

pcAnywhere 9.2 EX

- ・本機に添付されているpcAnywhere 9.2 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。
- ・接続デバイスは、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。
- ・他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMIT00L Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EX コンプリート版付)」または「pcAnywhere (Symantec社製)」がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても、別売の「DMIT00L Ver8.1 (pcAnywhere™ 9.0 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

PGP Personal Privacy

PGP Personal Privacy(以降PGP)は、ファイルを暗号化および復号化するツールです。

- ・PGPは、公開鍵暗号方式を使用しています。
- ・PGPをインストールすると、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」のファイルメニューにコマンドが追加されます。
- ・共有パスワードでファイルを暗号化し、共有することができます。
- ・Eメールアプリケーションと連携し、メールメッセージを暗号化して送信することができます。この場合、メールを受信するパソコンにもPGPがインストールされている必要があります。

- ・自己復号アーカイブを使用すると、PGPを持っていないユーザに暗号化ファイルを送信することができます。この場合、共通のパスワードを事前に設定しておく必要があります。

参照 PGPの操作方法について「スタート」ボタン「プログラム」「PGP」「ドキュメント」「PGPユーザズガイド」



チェック!!

- ・メールの件名は暗号化されません。件名のみを記載したメールを暗号化して送信しようするとエラーメッセージが表示されますので、通常のメールとして送信してください。
- ・「暗号化オプション」で「コンベンショナル暗号」または「自己復号アーカイブ」を選択して暗号化した場合、進捗を表示するバーの表示や作成されたファイルのアイコンが正しく表示されない場合がありますが、運用上は問題ありません。
- ・Outlook Expressをお使いの場合、「PGPオプション」の画面の「Eメール」タブにある「自動的に復号化 / 検証の確認」が☒になっていると、暗号化されたメールを復号化するときに「PGPエラー」が頻繁に発生することがあります。エラーメッセージが表示されたときは、PGPトレイおよびOutlook Expressを再起動するか、本機を再起動してください。
- ・「空き領域の完全削除」を行う場合、空き領域の容量によっては時間がかかることがあります。
- ・鍵作成時ユーザ名に日本語を使うことはできません。
- ・鍵生成ウィザードで「今すぐデフォルトサーバに鍵を送信する」を選択した場合、公開鍵をインターネット上のサーバに転送しますので、インターネットに接続できる環境が必要です。
- ・フォルダ単位での暗号化はできません。フォルダを選択し暗号化を行った場合、フォルダ内のファイルのみが暗号化されます。
- ・ショートカットファイルの暗号化を行うと、ショートカットファイルのリンク先のファイルが暗号化されます。ただし、ショートカットファイルを「PGPツール」の「暗号化」ボタンにドラッグしたまま移動させ暗号化を行った場合は、ショートカットファイルが暗号化されますが、リンク先のファイルは暗号化されません。
- ・暗号化して送信するメールは、テキスト形式で作成してください。HTML形式では正しく送信できないことがあります。また、HTML形式で受信したメールは復号化できないことがあります。


日本ネットワークアソシエイツ社のホームページには、PGPに関する最新情報が掲載されています。下記のアドレスからプリインストールユーザ向けのホームページにアクセスしてください。

<http://www.nai.com/japan/pgp/>

ワンタッチスタートボタンの設定

ワンタッチスタートボタンの設定は、コンパクトオールインワンノートにプリインストールされています。

ワンタッチスタートボタンを使うと、ボタンを押すだけでアプリケーションを起動することができます。

 **チェック!!** アプリケーションを起動するには、あらかじめ設定が必要です。詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボタン」をご覧ください。

P A R T

2

添付アプリケーションの 追加と削除

添付アプリケーションを追加したり削除したりする方法を説明しています。



追加の前に

次のような場合に、アプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを追加する場合
- ・標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合

追加するときの注意

- ・CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれも内蔵されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが必要です。
- ・ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。お使いの機種により「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
- ・「C:\¥Program Files」や「C:\¥WINNT」などのシステムが使用しているフォルダ直下には、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・アプリケーションによっては、インストール後の再起動時にDLL初期化のエラーメッセージが表示されることがありますが、動作上は問題ありません。

追加の準備

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用してアプリケーションを追加する場合は、次の手順を行ってください。

なお、一部の添付アプリケーションでは以下の手順は必要ありません。

- 1** CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする

3 「インストール」ボタンをクリックする

4 「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする

5 ボックス内に「E: ¥NXSETUP.EXE (CD-ROMドライブがEドライブの場合)」と表示されているのを確認し、「完了」ボタンをクリックする

「PC98-NX シリーズ アプリケーション CD-ROM セットアップユーティリティ」のセットアップ画面が表示されます。



チェック!! ここではCD-ROMドライブをEドライブとして説明しています。実際と異なる場合は読み替えてください。

ここから先はアプリケーションによって手順が異なります。次のページからの「追加のしかた」の各アプリケーションでの操作手順をご覧ください。

「Microsoft Windows NT 4.0日本語版Service Pack 6a」について

本機には「Microsoft Windows NT 4.0日本語版Service Pack 6a (以降、Service Pack 6a)」がインストールされています。

新しいコンポーネントを追加または変更した場合は、再度Service Pack 6aをインストールする必要があります。インストール方法など詳しくは、「スタート」ボタン「プログラム」「Service Pack 6」「Service Pack 6について」をご覧ください。

ファイルコピー中に「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選んでください。



追加のしかた

アプリケーションを追加する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000 Personal モデルのみを対象としています。
Office 2000 Personal は次のアプリケーションで構成されています。

- ・ Excel 2000(表計算ソフト)
- ・ Word 2000(ワードプロソフト)
- ・ Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)

Office 2000 Personal をまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Personal の再セットアップ(Office 2000 Personal モデルのみ)」をご覧ください。

また、Bookshelf Basic の追加は、「Office 2000 Personal」に添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROM を使って行ってください。詳しくは、CD-ROM に添付のマニュアルをご覧ください。

Office 2000 Professional

この説明は Office 2000 Professional モデルのみを対象としています。
Office 2000 Professional は次のアプリケーションで構成されています。

- ・ Excel 2000(表計算ソフト)
- ・ Word 2000(ワードプロソフト)
- ・ Outlook 2000(メール / スケジュール管理ソフト)
- ・ PowerPoint 2000(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- ・ Access 2000(データベース管理ソフト)
- ・ Publisher 2000(DTP ソフト)
- ・ 顧客データマネージャ 2000(顧客情報管理ソフト)
- ・ Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

Office 2000 Professionalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。

追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Professionalの再セットアップ(Office 2000 Professionalモデルのみ)」をご覧ください。

インターネットエクスプローラ

本機にはインターネットエクスプローラ4.0があらかじめインストールされていますが、インターネットエクスプローラ5を利用することもできます。インターネットエクスプローラ5を利用するには、セットアップが必要です。

インターネットエクスプローラ5のセットアップ

- 1 CD-ROMドライブに、添付の「バックアップCD-ROM #3」をセットする
- 2 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3 「インストールと削除」タブをクリックする
- 4 「インストール」ボタンをクリックする
「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」画面が表示されます。
- 5 「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「インストールプログラムのコマンドライン」に「<CD-ROM ドライブ名>: ¥ie5¥ie5setup.exe」と入力する
- 7 「完了」ボタンをクリックする
- 8 「追加使用許諾契約書」が表示されたら、よく読んでから「同意する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 セットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

- 10** 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

インターネットエクスプローラ4.0に最新のコンポーネントを追加する

インターネットエクスプローラに最新のコンポーネントを追加するには、次の手順でインストールします。いずれも同じWebサイトに接続して、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

- ・インターネットエクスプローラの「ヘルプ」「製品更新」をクリックする
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で追加する

- 1** 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「コンポーネントをInternet Explorerに追加する」で選び、「OK」ボタンをクリックする

インターネット設定切替ツール

- 1** 「追加の準備 (p.40)」の手順1～5を行う
- 2** 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「インターネット設定切替ツール」を選び、「インストール」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

- 5** 「セットアップの完了」画面が表示されたら、Readmeを読む場合はそのまま「完了」ボタンを、読まない場合は「Readmeファイルを読む。」のチェックを外してから、「完了」ボタンをクリックする。Readmeファイルを読み終わったら、ウィンドウ右上の[×]をクリックして閉じてください。
本機が再起動します。

DirectCD/Easy CD Creator

この説明は、DirectCDとEasy CD Creatorが添付されているモデルのみを対象としています。

- ✓チェック!!**
- ・CD-RW書き込みソフトを追加するときは、「Easy CD Creator」と「DirectCD」を両方とも追加してください。
 - ・CD-RW書き込みソフトを追加するときは、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてください。

- 1** 「Easy CD Creator™ 4 Standard/DirectCD™ 3 CD-ROM」をCD-R/RWDドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットする
「Master Setup」の画面が表示されます。表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示された画面でCD-R/RWDドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

- 2** 一覧から「Easy CD Creator」をクリックする

- 3** 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

- 4** 「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする

- 5** 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

- 6** 「セットアップの完了」画面で「完了」ボタンをクリックする

- ✓チェック!!** Acrobat Readerをインストールしていない場合、続けてAcrobat Readerのインストールを行うかどうかを選択する画面が表示されます。ここでは「いいえ」ボタンをクリックしてください。

- 7 一覧から「DirectCD」をクリックする
- 8 「DirectCD」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 9 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 10 「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 11 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
セットアップが始まります。
セットアップ終了後、最初に表示された「Master Setup」の画面が表示されます。
- 13 「終了」ボタンをクリックする
- 14 「セットアップの完了」画面で「はい」、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「終了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

 **チェック!!** 本機が再起動するまでCD-ROMを取り出さないでください。

- 15 インジケータ領域(タスクトレイ)の「Adaptec CreateCD」を右クリックし、「CreateCDを無効にする」をクリックする
- 16 「Adaptec CreateCD」画面で「はい」ボタンをクリックする

Acrobat Reader

- 1 「追加の準備」(p.40)の手順1~5を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Acrobat Reader」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする
- 3 「Acrobat Reader 4.05 のセットアップ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

5 画面の指示に従って、インストールを完了する

- ✔ **チェック!!** 「情報」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。「セットアップの完了」画面が表示された場合は、「完了」ボタンをクリックして再起動してください。

Intel Iisync

Intel Iisyncを追加する前に、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」の「赤外線通信を行う前に」の手順を行ってください。

- 1 「追加の準備 (p.40)」の手順1～5を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Intel Iisync (WindowsNT 4.0のみ)」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザの情報」画面で「名前」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

- ✔ **チェック!!** シリアル番号は変更しないでください。

- 6 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「セットアップ方法」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 9 「質問」画面の「スタートアップグループにIntel Iisyncを追加しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 10 「セットアップの完了」画面で「IrWizardを起動して赤外線接続を設定します。」にチェックが入っていることを確認して、「完了」ボタンをクリックする

必要に応じて以降の手順を行ってください。

- 11 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「次へ」ボタンをクリックする
- 12 「赤外線の設定-デバイスの選択」でハイスペックノートの場合は「NEC FIR port model 03」、その他のモデルの場合は「NEC FIR port model 04」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 13 「赤外線の設定-ボーレートの選択」で「115200」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 14 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「完了」ボタンをクリックする
- 15 「IRセットアップウィザード」で「OK」ボタンをクリックする
- 16 「セットアップの完了」が表示された場合は「完了」ボタンをクリックする


VirusScan

 **チェック!!** VirusScanの追加は、Administrator権限でログオンして行ってください。

- 1 「追加の準備」(p.40)の手順1～5を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「VirusScan」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする
インストールには数分かかります。
インストール終了後、自動的に再起動します。

 **チェック!!** コマンド入力後、キーボードなどに触れないようにしてください。

追加後はシステムスキャンが有効になっています。システムスキャンを解除するには、「システムスキャンを無効にする」(p.29)をご覧ください。

 **参照** インストールについて詳しくは「アプリケーションCD-ROM」の¥Virus¥Readme.TXT

CyberAccess

 **チェック!!** 「C:¥Program Files」や「C:¥WINNT」などのシステムが使用しているフォルダ直下には、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。

- 1 「追加の準備」(p.40)の手順1～5を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「CyberAccess」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする
- 3 「CyberAccess セットアッププログラムへようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先ディレクトリを選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「CyberAccess」画面でセットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「標準」または「カスタム」のどちらかにチェックを付けてください。

CyberAccessをセットアップするときには、次の項目を設定します。「標準」に設定すると自動的にセットアップが行われます。

・利用できるモード

新規に作成しなくても、あらかじめ準備されているモードのことです。インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用することができます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード、セキュリティモード
カスタム	エキスパートモード、セキュリティモード (上記のほかに、アドバンスモード、ベーシックモードを追加選択可能)

・標準起動モード

特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインしたときなどに起動するモードです。モードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード
カスタム	任意のモードを設定可能

次のページの手順6で選択したモードの中から選択できます。

・エキスパートパスワードの設定

エキスパートモード(CyberAccessを設定可能な管理者モード)のパスワードです。設定することにより、不正なアクセスやCyberAccessの設定変更などを防ぐことができます。パスワードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	manager
カスタム	任意の文字列に変更可能 (初期値はmanager)

以降、手順6～9は「カスタム」を選択した時の手順です。「標準」を選択すると、自動的に設定が行われますので、手順10に進んでください。

6 セットアップ時に自動的に作成するモードを選択して「次へ」ボタンをクリックする

7 手順6で選択したモードの中から「標準起動モード」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

8 「エキスパートパスワードの設定」を設定して「次へ」ボタンをクリックする

9 「CyberAccess サーバ名の入力」欄には何も入力せず、「ネットワークモードをダウンロードしない」にチェックをつけて「次へ」ボタンをクリックする

この項目は、ネットワークを利用した集中管理を行うためのものです。集中管理を行うためには、別売の「CyberAccess Ver3.0」が必要です。

10 「セットアップ開始」画面で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

11 「セットアップ完了」画面で「CyberAccess のセットアップに成功しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)



チェック!! ・Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)の追加は、Administrator権限でログオンして行ってください。

- ・ Intel® LANDesk® Client Manager ㊦ with NEC Extensions ㊦を動作させるためには、ネットワークの設定が行われており、TCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。また、TCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、Intel® LANDesk® Client Manager ㊦ with NEC Extensions ㊦をインストールする前に、TCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。
- ・ TCP/IPの設定を行う前に、Intel® LANDesk® Client Manager ㊦ with NEC Extensions ㊦をインストールした場合、起動時にイベントビューアにエラーが記録される場合がありますが問題ありません。TCP/IPをインストールすると正しく動作するようになります。

- 1 「追加の準備」(p.40)の手順1 ~ 5を行う
- 2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Intel(R) LANDesk(R) Client Manager ㊦ NEC Extension」㊦を選択し、「インストール」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「製品ライセンス契約」画面が表示されたら、契約内容を確認し「はい」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「コンポーネントの選択」画面が表示されたら、インストールするコンポーネントを選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「プログラムフォルダの選択」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 8 「ユーザの追加」画面が表示されたら、任意のユーザ名 / パスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックする
プログラムのインストールが始まります。

インストール中に「警告」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 9** 「セットアップの完了」画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリックする
フロッピーディスクドライブにディスクがセットされている場合は、ディスクを取り出してから「完了」ボタンをクリックしてください。

本機が再起動します。

Masty Data Backup


- 1** 「追加の準備 (p. 40) の手順1 ~ 5を行う
- 2** 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Masty Data Backup/F」を選択し「インストール」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。

ほかのアプリケーションが起動している場合、インストールの途中でそれらのアプリケーションのウィンドウが前面に表示されることがあります。このような場合は、それらのウィンドウを最小化すると「セットアップ完了」ウィンドウが表示されます。

- 5** 「セットアップ完了」画面が表示されたら、Readmeを読まない場合はそのまま「完了」ボタンを、読む場合は「Readmeファイルを読みます。」をチェックしてから、「完了」ボタンをクリックする
Readmeファイルを読み終わったら、ウィンドウ右上の ☒ をクリックして閉じてください。

pcAnywhere 9.2 EX

- 1** 「追加の準備 (p. 40) の手順1 ~ 5を行う
- 2** 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「pcAnywhere 9.2 EX」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする

- 3 「pcAnywhere 9.2 EXセットアップウィザードへようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
「使用許諾契約」が表示されます。
- 4 内容をよく読み、同意のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を  にして「次へ」ボタンをクリックする
「ユーザ情報」が表示されます。
- 5 ユーザ名と所属を入力して「次へ」ボタンをクリックする
「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されます。
- 6 「インストール」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 7 「pcAnywhere 9.2 EXセットアップウィザードを完了しています」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
「pcAnywhere 9.2 EXのインストーラ情報」のメッセージが表示されます。
- 8 「はい」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

PGP Personal Privacy

- 1 「追加の準備 (p.40) の手順1 ~ 5を行う
- 2 「PGP」をクリックして選択し、「インストール」ボタンをクリックする
「ようこそ」の画面が表示されます。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
「製品ライセンス契約」の画面が表示されます。
- 4 画面の内容をよく読み、「はい」ボタンをクリックする
「重要な情報」の画面が表示されます。

5 画面の内容をよく読み、「次へ」ボタンをクリックする
「ユーザの情報」の画面が表示されます。

6 名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
「インストール先の選択」の画面が表示されます。

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

7 「次へ」ボタンをクリックする
「コンポーネントの選択」の画面が表示されます。

8 インストールするコンポーネントを選択し「次へ」ボタンをクリックする
「ファイルをコピーする準備ができました」の画面が表示されます。

9 「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
しばらくすると、「鍵リング」の画面が表示されます。

10 「いいえ」ボタンをクリックする
はじめてPGPをインストールする場合や「鍵リング」が無い場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。
作成済みの「鍵リング」を使用する場合は「はい」ボタンをクリックし、「鍵リング」が保存されている場所を指定してください。

「セットアップの完了」の画面が表示されます。

11 「PGP鍵の起動」のチェックをはずして「完了」ボタンをクリックし、本機を再起動する
「はい、ただちにコンピュータを再起動します」と表示された場合は、「完了」ボタンをクリックします。
自動的に本機が再起動します。

削除の前に

添付のアプリケーションの削除に関する注意事項を説明しています。

削除するときの注意

- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
- ・インターネットエクスプローラを削除することはできません。
- ・CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれも内蔵されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが必要です。
- ・ここではCD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。「CD-ROMドライブ」はお使いの機種により「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
- ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
- ・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。
- ・アイコンを削除する場合は、次のページの「アイコン削除の準備」を行ってから削除します。
- ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使ってアプリケーションを削除する場合は、次の手順を行ってください。

CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

なお、一部の添付アプリケーションでは以下の手順は必要ありません。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

2 「インストールと削除」タブを選択する

削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、「スタート」メニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障ありません。

アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。



チェック!!

- ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断しても、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Windows NTエクスプローラ」をクリックする
- 2 Windows NTエクスプローラの「表示」メニューから「フォルダ オプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示する」を選択する

4 「OK」ボタンをクリックする

この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。


削除のしかた

アプリケーションを削除する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000 Personalモデルのみを対象としています。

Office 2000 Personalの削除

- 1 「削除の準備」(p.55)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Personal」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら、 (Office の削除)をクリックする
- 4 「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか？」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 5 「Microsoft Office 2000 SR-1 Personal のセットアップが正常に終了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 6 本機を再起動する


MS-IME2000 の削除



チェック!! MS-IME2000以外の日本語入力システムが使える状態になっていない場合には、MS-IME2000は削除できません。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする
- 2 「言語」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする

- 3 「言語の追加」画面から他の言語を選択して「OK」ボタンをクリックする
- 4 「言語のプロパティ」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「キーボードのプロパティ」の画面で「Microsoft IME 2000」を選択し、「削除」ボタンをクリックする
- 6 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** メッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックし「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 CD-ROMドライブに「Office 2000 Personal」のCD-ROMをセットする
「Microsoft Office 2000 へようこそ」画面が表示されたら、画面を閉じてください。
- 8 「削除の準備（ p.55 ）の手順1～2を行う
- 9 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft IME 2000」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックする
「Microsoft IME 2000 セットアップ」画面が表示されます。
- 10 「すべて削除」ボタンをクリックする
- 11 「本当にすべて削除しますか？」と表示されたら「削除する」ボタンをクリックする
- 12 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 13 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする
自動的に再起動します。

アイコンの削除

Office 2000 Personalを削除したあと、クイック起動バー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。

アイコンは、次の手順で削除することができます。

- 1 クイック起動バーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックするメニューが表示されます。
- 2 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- 3 「はい」ボタンをクリックする


また、Bookshelf Basicの追加は、「Office 2000 Personal」に添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、CD-ROMに添付のマニュアルをご覧ください。


Office 2000 Professional

この説明は、Office 2000 Professionalモデルのみを対象としています。

Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000の削除

- 1 「削除の準備」(p.55)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら「機能の追加/削除」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。

- 4 削除したいアプリケーションのをクリックし、「インストールしない」をクリックする

5 「完了」ボタンをクリックする

6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする


7 本機を再起動する


Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Plannerの削除

1 「削除の準備 (p.55) の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

3 「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されたら「機能の追加/削除」ボタンをクリックする

 **チェック!!** Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Planner全部を削除する場合は、「Officeの削除」ボタンをクリックして、「Microsoft Office 2000 を削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、手順6に進んでください。


4 削除したいアプリケーションのをクリックし、「インストールしない」をクリックする

5 「完了」ボタンをクリックする


6 「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2 のセットアップが正常に終了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

7 本機を再起動する

MS-IME2000の削除

 **チェック!!** MS-IME2000以外の日本語入力システムが使える状態になっていない場合には、MS-IME2000は削除できません。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする
- 2 「言語」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする
- 3 「言語の追加」画面から他の言語を選択して「OK」ボタンをクリックする
- 4 「言語のプロパティ」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「キーボードのプロパティ」の画面で「Microsoft IME 2000」を選択し、「削除」ボタンをクリックする
- 6 「適用」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** メッセージが表示された場合は、「はい」をクリックし「OK」ボタンをクリックしてください。

- 7 CD-ROMドライブに「Office 2000 Professional Disc1」のCD-ROMをセットする
「Microsoft Office 2000へようこそ」画面が表示されたら、画面を閉じてください。
- 8 「削除の準備 (p.55)」の手順1～2を行う
- 9 「インストールと削除」の画面の一覧から「Microsoft IME 2000」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックする
「Microsoft IME 2000 セットアップ」画面が表示されます。
- 10 「すべて削除」ボタンをクリックする
- 11 「本当にすべて削除しますか?」と表示されたら「削除する」ボタンをクリックする
- 12 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

- 13** 再起動を促すメッセージが表示されたら「はい」をクリックする
自動的に再起動します。


アイコンの削除

Office 2000 Professionalを削除したあと、クイック起動バー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。

アイコンは次の手順で削除することができます。

- 1** クイック起動バーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする
メニューが表示されます。
- 2** 「削除」をクリックする
「ファイルの削除の確認」が表示されます。
- 3** 「はい」ボタンをクリックする


インターネット設定切替ツール

 **チェック!!** インターネット設定切替ツールを起動している場合は、終了させてから削除を行ってください。

- 1** 「削除の準備 (p.55)」の手順1～2を行う
- 2** 「インストールと削除」の一覧から「インターネット設定切替ツール」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「「インターネット設定切替ツール」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4** 「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリックする
- 5** 本機を再起動する

DirectCD/Easy CD Creator

この説明は、DirectCDとEasy CD Creatorが添付されているモデルのみを対象としています。

-  **チェック!!**
- ・CD-RW書き込みソフトを削除するときは、「DirectCD」と「Easy CD Creator」の両方を削除してください。
 - ・CD-RW書き込みソフトを削除するときは、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてください。


1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Adaptec DirectCD」 「アンインストール」をクリックする

2 「「Adaptec DirectCD」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
DirectCDの削除が始まります。

3 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

4 「スタート」ボタン 「プログラム」 「Adaptec Easy CD Creator 4」 「アンインストール」をクリックする

5 「Easy CD Creator 4およびコンポーネントすべてを削除してよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
Easy CD Creatorの削除が始まります。

-  **チェック!!**
- 「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。

6 「アンインストールが完了しました!」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

7 本機を再起動する

Acrobat Reader

1 「削除の準備 (p.55)の手順1～2を行う

- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat 4.0」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「'Adobe Acrobat 4.0'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。
- 4 「コンピュータからプログラムを削除」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

「アンインストールが完了しましたが、いくつかの項目は削除できませんでした。」と表示された場合は、「詳細」をクリックし、画面に表示されているフォルダをエクスプローラなどを使って削除してから「OK」ボタンをクリックしてください。

Intellisync

- 1 「削除の準備 (p.55) の手順1 ~ 2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「'Intellisync'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックし、「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
削除が始まります。
- 4 「コンピュータからプログラムを削除」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする

「アンインストールが完了しましたが、いくつかの項目は削除できませんでした。」と表示された場合は、「詳細」をクリックし、画面に表示されているフォルダをエクスプローラなどを使って削除してから「OK」ボタンをクリックしてください。

VirusScan

 **チェック!!** VirusScanの削除は、Administrator権限でログオンして行ってください。

- 1 「削除の準備 (p.55)」の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
「McAfee VirusScan インストール」画面が表示されます。
- 3 「McAfee VirusScan メンテナンス ウィザードへようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「プログラムのメンテナンス」で「削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「プログラムの削除」で「削除」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 6 「McAfee VirusScan インストール ウィザードを完了します。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

 **チェック!!** VirusScanの削除後は、必ず本機を再起動してください。

CyberAccess

- 1 「削除の準備 (p.55)」の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「CyberAccess」をクリックして、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)

✓チェック!! Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)の削除は、Administrator権限でログオンして行ってください。

- 1 他のアプリケーションをすべて終了させる
- 2 「削除の準備」(p.55)の手順1～2を行う
- 3 「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 4 「「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
プログラムの削除が開始されます。

共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

✓チェック!! 「「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」はシステムから削除されました。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 5 「LDCMのアンインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
本機が自動的に再起動します。

Masty Data Backup

- 1 「削除の準備」(p.55)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Masty Data Backup/F」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「「Masty Data Backup/F」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

4 「アンインストールが完了しました。」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックする

5 本機を再起動する



チェック!!

- ・アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windowsの登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- ・再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

pcAnywhere 9.2 EX

1 「削除の準備 (p.55) の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「pcAnywhere 9.2 EX」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

3 「この製品をアンインストールしますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

「選択した機能はCD-ROM、または現在使用できない他のリムーバブルディスクにあります。」と表示された場合は、CD-ROMドライブに添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットし、「OK」ボタンをクリックしてください。

pcAnywhere 9.2 EXの削除画面が表示されます。画面が消えたら、pcAnywhere 9.2 EXの削除は終了です。

「pcAnywhere 9.2 EXに行った設定変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。」と表示された場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

- 1 「削除の準備（ p.55 ）の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「PGP Personal Privacy 6.5.8J」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
「アンインストールの確認」の画面が表示されます。
- 3 「はい」ボタンをクリックする
「アンインストール完了」の画面が表示されます。
- 4 「はい、直ちにコンピュータを再起動します」が☒になっていることを確認し、「完了」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

P A R T

3

パソコンのメンテナンスと管理

パソコンのメンテナンスのしかたやトラブルからパソコンを守るための方法などを説明しています。



パソコンをウイルスから守る

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとはプログラム的一种です。ユーザ(使用者)が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

ファイル感染型ウイルス

一般に、実行ファイル(拡張子が .EXE や .COM)に感染するタイプのウイルスです。ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能とは、ワープロや表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

ブートセクタ型ウイルス

パソコンの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
- ・マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なワープロや表計算のファイルを開かない

- ・ インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、チェックしてから使用する
- ・ 入手したプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
- ・ ウイルスチェックを定期的に行う

本機にはウイルスチェック用プログラムとして「VirusScan」が添付されています。

また、定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

参照 バックアップのとり方 このPARTの「データのバックアップをとる」(p.76)

ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。

また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体（フロッピーディスクやハードディスクなど）をすべて検査する必要があります。

ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先：情報処理振興事業協会（通称IPA）

本部 〒113-6591

東京都文京区本駒込2-28-8

文京グリーンコート センターオフィス16階

IPAセキュリティセンターウイルス対策室

電話 03-5978-7509

FAX 03-5978-7518

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>

VirusScanを使ってウイルスを駆除する

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないかを検査し、万一感染していたときには、それを駆除することができます。

VirusScanは購入時の状態ではインストールされていません。添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしてください。

参照 「VirusScan」のインストール PART2の「追加のしかた」の「VirusScan」(p.48)

ウイルスの検査には次の4通りの方法があります。

- ・VShield
常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスに感染しないように検査します。
- ・ScreenScan
スクリーンセーバーの実行中に、ウイルスに感染していないかを検査します。
- ・VirusScanスケジューラ
あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスに感染していないかをチェックします。
- ・VirusScan
その場でウイルスに感染していないかを検査します。

チェック!! ワクチンソフトのウイルス検索エンジンとウイルスのデータベースファイルは順次更新されます。新種のウイルスが出現することがありますので、これらのファイルは定期的に更新してください。
詳しくは「新種のウイルスに備える」(p.75)をご覧ください。

常に検査する

「VShield」を使うことで、ファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査することができます。

「VShield」の使いかたについては、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

定期的に検査する

「VirusScanスケジューラ」で1回、毎時、毎日、毎週、毎月と期間を指定して、自動的にウイルス感染の検査を実行することができます。

「VirusScanスケジューラ」の使い方については、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

すぐに検査する

「VirusScan」は、その場でファイルがウイルスに感染していないかを検査することができます。

外部からファイルを受け取ったときには「VirusScan」を実行して、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。

「VirusScan」の使い方については、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「駆除」をクリックしてウイルスを駆除してください。

詳しい説明は、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

新種のウイルスに備える

本機に添付されているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。



チェック!!

- ・インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)では、「VirusScanコンソール」で「DATの自動アップデート」を右クリックして「開始」をクリックすることにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。
- ・DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合は、VirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。

データのバックアップをとる

バックアップとは

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合や、ハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製を作ること「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なバックアップが有効です。

バックアップが必要なデータ

本機のシステムが故障した場合には、添付の「バックアップ CD-ROM」を利用して購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

再セットアップを行うと、購入後にインストールしたアプリケーションや、作成した文書やデータ、保存してある電子メールなどはすべて失われます(パスワードを除く)。

再セットアップを行うと失われるデータと元に戻せるデータには、以下のものがあります。

	データの一例
再セットアップを行うと失われるデータ	<ul style="list-style-type: none">・ワープロの文書・入力した伝票のデータ・購入後にインストールしたアプリケーション・送受信したメール・メールのアドレス帳・インターネットの設定・BIOSセットアップメニューの設定
再セットアップを行うと元に戻せるデータ	<ul style="list-style-type: none">・Windows(OS)・添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っているアプリケーション(ただし、再セットアップ完了後に再追加が必要)

インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合には、再セットアップ完了後に再追加すると元の状態に戻ります。

参照 ▶ 再セットアップ 『活用ガイド 再セットアップ編』

バックアップをとるタイミング

誤ってデータを消してしまったり、システムが故障するなどの事態は、いつ起こるかわからないので、特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびに、バックアップをとってください。

また、日時や曜日を決めて、定期的に必要なデータのバックアップをとることも有効です。

バックアップ先について

データをバックアップするには、データを保存するための記憶媒体(バックアップ先)が必要です。

次の表を参考にバックアップ先となる記憶媒体を選択してください。

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	<ul style="list-style-type: none"> ・記録スピードが速い ・追加の機器が必要ない ・容量が非常に大きい(数Gバイト程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> ・記録スピードが速い ・容量が非常に大きい(数Gバイト程度) ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・別売の外付けハードディスクやPCカードが必要
CD-RやCD-RW	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち運びが可能 ・記録スピードが比較的速い ・容量が大きい(数百Mバイト程度) ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・別売のCD-RやCD-RWとお使いの機種によってはディスクを扱えるドライブやPCカードが必要
フロッピーディスク	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち運びが可能 ・他の媒体に比べて安い ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・容量が小さい(約1.4Mバイト) ・記録スピードが遅い ・別売のフロッピーディスクが必要

バックアップの手順

内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップをとる

内蔵のハードディスクは購入時の状態では、Windowsなどのシステムが保存されている「Cドライブ」と、何もデータが入っていない「Dドライブ」に分けられています。

このDドライブにバックアップをとります。

ハードディスク自体は故障していなくても、誤って重要なシステムファイルを削除してしまったり、本機では正常に動作しないアプリケーションをインストールすると、Windowsが起動しなくなる場合があります。

このような場合に「Cドライブのみを再セットアップする」方法で再セットアップを行うと、トラブルを解決できます。この方法では、Cドライブのデータはすべて失われますが（パスワードを除く）、Dドライブのデータは残ります。

そのため、システムの調子がおかしくなった場合には、Dドライブへのバックアップが有効です。また、新しい機器を購入する必要があるため、購入直後からバックアップをとることができます。



参照▶ Cドライブのみを再セットアップする 『活用ガイド 再セットアップ編』の「カスタム再セットアップ～CドライブのみをFAT16で再セットアップ」または「カスタム再セットアップ～CドライブのみをNTFSで再セットアップ」

フロッピーディスクなどにバックアップをとる

Dドライブにバックアップをとった後、フロッピーディスクや外付けハードディスク、CD-R、CD-RWなど、Dドライブとは別の記憶媒体にもバックアップをとっておくと安全です。

万一ハードディスクが故障しても、これらの記憶媒体にバックアップをとっていると、ハードディスクを修理した後で、データを復旧することができます。

お使いのモデルによっては、これらの記憶媒体にバックアップをとるために、別売の機器を購入する必要があります。

ハードディスクのメンテナンス

ハードディスクのメンテナンスをする

メンテナンスとは、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータの障害の防止や発見、効率的な利用のために、検査や整備をすることです。Windows NTには、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つためのメンテナンスソフトが組み込まれています。

エラーチェックプログラム

ハードディスクはプログラムやデータを保存する非常に精密な装置です。コンピュータの使用中にハードディスクで障害が発生することもあります。軽い障害であれば、エラーチェックプログラムを使って修復することができます。

- 1 Windows NTのデスクトップで「マイ コンピュータ」をダブルクリックする
- 2 修復するハードディスクのアイコンをクリックする
- 3 「ファイル」メニュー 「プロパティ」を選択して、「ツール」タブをクリックする
- 4 「チェックする」ボタンをクリックする
- 5 「チェックディスクオプション」を選択したら、「開始」ボタンをクリックする



チェック!! 定期的にエラーチェックを起動して、ハードディスク上にエラーが無いことを確認してください。

「エラーチェックプログラム」の使いかたについては、Windowsのヘルプをご覧ください。

使用していないファイルを削除する

知らないうちにハードディスクにたまった不必要なファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。

不必要なファイルには、インターネットを利用したときやソフトウェアのインストール時、ソフトウェアを使用したときにソフトウェアが作成する一時ファイルなどがあります。

P A R T

4

トラブル解決 Q&A

トラブルの解決方法を具体的に説明しています。



はじめて電源を入れたとき

セットアップの画面が表示されない

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F1 to Run SETUP」のメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

1 【F1】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照 BIOSセットアップメニュー 『活用ガイド ハードウェア編』のPART3「システムの設定」

2 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動して「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示されます。

『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

セットアップの画面が表示されずに、メッセージが表示された

機種によっては、はじめて電源を入れたときにメッセージが表示されますが、異常ではありません。しばらくするとセットアップの画面が表示されます。

『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

約5秒待ってからもう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください。

ハードディスクのチェックが実行され、セットアップが実行されたときそのままセットアップを続けることができます。セットアップが正常に終了した後は、問題なく使うことができます。
Windowsのセットアップは、停電などのやむを得ない理由で電源が切れたとき(電源を切ったとき)や、Windowsのいくつかのファイルが破損してしまったときなど、正常に作業が終了しなかったときにハードディスクのチェック機能が働きます。

セットアップ時に登録した名前や組織名を変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前や組織名は、セットアップが完了すると変更できません。
どうしても変更したいときは、再セットアップを行ってください。再セットアップの「ユーザー情報」ウィンドウで名前や組織名を入力します。

参照 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

電源を入れたとき

「Invalid system disk Replace the disk,...」というエラーメッセージが表示される

☹️➡️😊 システムの入っていないフロッピーディスクをセットしたまま本機の電源を入れたり、再起動したりしていませんか？

フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブからディスクを取り出し、何かキーを押してください。ハードディスクからシステムが起動します。

ディスプレイに何も表示されない

電源ランプ(Ⓛ)が点灯していないとき

☹️➡️😊 サスペンド状態になっていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』をご覧ください、本機をレジュームさせてください。

参照

サスペンド機能について 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能 (Windows NT 4.0の場合)」

☹️➡️😊 ACアダプタは正しく接続されていますか？ バッテリーパックは取り付けられていますか？バッテリーは充電されていますか？

『はじめにお読みください』をご覧ください、バッテリーパックやACアダプタを接続しなおしてください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電してください。



チェック!!

ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、本機の故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください、ご購入元、NECフィールドイングの各支店、営業所などにご相談ください。

電源ランプ(④)が点灯しているとき

☹️➡️😊 ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか？

【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押し、ディスプレイの輝度を調整してください。

☹️➡️😊 外付けのディスプレイを接続していませんか？

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先が「テレビ」または「CRT」になっているときは、液晶ディスプレイに画面は表示されません。画面の出力先を変更したいときは、キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押してください。キーを押すごとに画面の出力先を切り替えることができます。

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる

☹️➡️😊 スタンバイモードまたはサスペンド状態になっていませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、サスペンド状態になっていることが考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows NT 4.0の場合)」をご覧ください。レジャームさせてください。

Windows NTが起動しない

BIOSセットアップメニューの設定が正しくない可能性があります。次の方法でBIOSセットアップメニューの設定をご購入時の状態に戻してください。

- 1 本機の電源を切ります。
- 2 PCカードを接続しているときは、取り外してください。
- 3 約5秒以上待ってから本機の電源を入れます。
- 4 「NEC」のロゴが表示されたらすぐに【F2】を押し続けます。
BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

🔍 **チェック!!** BIOSセットアップメニューが表示されない場合は、いったん電源を切り、【F2】を押しながら電源を入れ直してください。

5 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、**【Enter】**を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、キーボードの**【Enter】**を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

7 キーボードの**【F10】**を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

8 「はい(Yes)」を選び、キーボードの**【Enter】**を押します。

これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

「Checking file system on X:」と表示される

上記のように表示されたときは、次のような原因が考えられます。

- ・前回電源をOFFにしたときに正しく電源がOFFにならなかった
- ・本機の電源を強制的に切ろうとした
- ・サスペンドした内容が何らかの原因で失われてしまった

メッセージのあと、自動的にハードディスクの内容がチェックされます。

ハードディスクに異常がなければ、Windowsが起動します。

ハードディスクに何か問題があって正常に起動しなかったときは、画面の指示に従ってください。



参照 再セットアップするときには 『活用ガイド 再セットアップ編』

起動時、「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された




毎回起動時にこのメッセージが表示されますが、動作上問題ありません。もしこのメッセージを表示させないようにしたい場合は以下の手順で設定してください。

1 本機の電源を入れます。

2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの**【F2】**を押し続けます。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

 **チェック!!** BIOSセットアップメニューが表示されない場合は、いったん電源を切り、【F2】を押しながら電源を入れ直してください。

3 「省電力セットアップ(Power Management Setup)」を選び【Enter】を押します。

省電力セットアップの画面が表示されます。





4 「自動ハイバネーション(Auto Save To File)」を「使用しない(Disabled)」にします。


5 【ESC】を押して【F10】を押します。


セットアップ確認の画面が表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

 →  キャップスロックキーランプ()または ニューメリックロックキーランプ()が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプ()が点灯しているときは、【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押して、キャップスロックを解除してからパスワードを入力し直してください。

ニューメリックロックキーランプ()が点灯しているときは、【Num Lock】を押してニューメリックロックを解除してからパスワードを入力し直してください。


パスワードを忘れてしまった

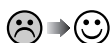
 →  Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

Windowsのパスワードを忘れてしまったときは、「ログオン情報」の画面で、新しいユーザ名でログオンを行うか、Windowsを再セットアップしてください。

 **メモ**

Administrator権限を持つユーザでログオンし、「ユーザマネージャ」でパスワードを変更することもできます。

 **チェック!!** ローカルマシンのAdministrator権限を持つユーザすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windowsの設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。



スーパーバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったとき

スーパーバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード(暗証番号機能モデルのみ)を忘れてしまったときには、解除処置が必要です。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、NECフィールディングの各支店、営業所などにご連絡ください。

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 - 1 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 - 2 身分証明書(お客様ご自身を証明できるもの)
 - 3 印鑑
- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただく必要があります。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

ハードディスクに保存したパスワードを忘れてしまうと、ハードディスクの利用ができなくなります。この場合は、ハードディスクの有償交換となります。また、ハードディスクに保存したデータを見えなくなります。





チェック!!

お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。ハードディスクは有償で交換することになりますので、ハードディスクのパスワードは忘れないように十分注意してください。


電源を切るとき

正しい電源の切りかたを知りたい

- 1 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリックします。
「Windowsのシャットダウン」ウィンドウが表示されます。
- 2 「シャットダウンする」を  (オン)にして「OK」ボタンをクリックします。
しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプ()が消えます。

強制的に終了させたい

上記の手順で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていることが考えられます。次の手順に従ってアプリケーションを強制的に終了してください。

 **チェック!!** この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。

強制的にアプリケーションを終了させる

- 1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押して「Windows NTのセキュリティ」画面を表示し、「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。
「Windows NTタスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アプリケーション」タブをクリックします。
- 3 「状態」欄に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリックします。



4 もう一度、前ページの「正しい電源の切りかたを知りたい」の手順に従って電源を切ってください。

この方法でも正常に電源を切れないときは、次のようにして本機を強制的に終了させてください。

強制的に電源を切る方法

1 電源スイッチを約4秒以上操作し続けます。

✓チェック!! BIOSセットアップメニューで、電源スイッチでサスペンド状態になる設定になっている場合、この操作をするとサスペンド状態になってしまうことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。



サスペンド/レジューム機能に対応していないアプリケーションを使っているときにサスペンド状態にすると、電源を切ることができなくなることがあります。このようなときには、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。

電源を強制OFFできないとき

約4秒以上電源スイッチを操作し続けても電源を切れないときには、もう一度約4秒以上電源スイッチを操作し続けてください。それでも電源が切れない場合は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

省電力機能

レジュームしたが、サスペンドする前の状態の画面が表示されない

☹️➡️😊 周辺機器はサスペンド / レジューム機能に対応していますか？

サスペンド / レジューム機能に対応していない周辺機器でこの機能を使うとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。また、このような周辺機器を使うときは、サスペンド状態にしないでください。

☹️➡️😊 サスペンド状態のときに機器構成を変えませんでしたか？

サスペンドしたあとで、接続している周辺機器などの構成を変えると、レジュームできなくなることがあります。このようなときは、本機が自動的に再起動し、保存していなかったデータは失われます。

レジュームしたときに、何も画面に表示されない

☹️➡️😊 キャップスロックキーランプ (Ⓐ) とスクロールロックキーランプ (Ⓜ) が交互に点灯していませんか？

レジュームしたとき、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ (Ⓐ) とスクロールロックキーランプ (Ⓜ) が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。

電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

✔️ **チェック!!** レジュームしたときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。

サスペンドできない

☹️➡️😊 電源スイッチの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューで「システムスイッチ切り替え(System Switch)」の設定を「パワーボタン(Power Button)」にしているとサスペンドできません。「システムスイッチ切り替え(System Switch)」を「スリープボタン(Sleep Button)」に設定してください。

自動的にサスペンドしない

☹️➡️😊 一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか？

双方向通信するプリンタなどは、一定間隔でメモリ、ハードディスク等にアクセスされるため時間設定による省電力機能が働きません。省電力機能を使用したい場合は、このようなアプリケーションを終了させておいてください。

本機に添付されているアプリケーションでは、「Masty Data Backup」および「Intel® LANDesk® Client Manager & with NEC Extensions」状態監視を行うに設定した場合)」がこれに相当します。

サスペンドしておいたデータをレジュームさせようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

☹️➡️😊 パソコンがサスペンド状態への移行処理中、またはサスペンド状態からレジューム中に次の操作を行いませんでしたか？


- ・ディスプレイのフタを開めた
- ・電源を切った

これらの操作を行うと、レジュームできなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。


バッテリー

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電がはじまらない

☹️➡️😊 バッテリーがフルに充電されていませんか？

バッテリー充電ランプ()が消えているときは、バッテリーがフル充電されています。バッテリーがフルに充電されているときや、フル充電に近いときは充電されないことがあります。

☹️➡️😊 バッテリーパックが接触不良を起こしていませんか？

バッテリーパックが接触不良の場合には、バッテリー充電ランプ()が点滅します。バッテリーパックを取り外し、もう一度取り付け直してください。

フル充電したのにバッテリー充電ランプ()が点灯する

バッテリーは少しずつ自然放電しているため、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリー充電ランプ()が点滅する

☹️➡️😊 バッテリーパックは正しく取り付けられていますか？

電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

バッテリーを正しく取り付け直しても直らないとき

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「バッテリー」の「バッテリーリフレッシュ」をご覧ください。バッテリーリフレッシュを行ってください。バッテリーリフレッシュを行っても直らないときはバッテリーパックの寿命ですので、別売のバッテリーパックと交換してください。

表示

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる


☹️➡️😊 スタンバイモードまたはサスペンド状態になっていませんか？

NXパッドなどのポインティングデバイス进行操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、サスペンド状態になっていると考えられます。『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows NT 4.0の場合)」をご覧ください。レジュームしてください。

インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップではなく、Windows NTの画面にしたい(Internet Explorer 4.01 SP2の場合)

アクティブ デスクトップ機能を外す

インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップ機能を外すときは、次の手順に従ってください。

- 1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウの「インストールと削除」タブで「Microsoft Internet Explorer 4.01 SP2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックします。
「Windowsデスクトップのアップデートコンポーネントを削除するが、Internet Explorer 4.0のWebブラウザは削除しない」をクリックして  (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
- 4 再起動を促すメッセージが表示されたら「Windowsの再起動」ボタンをクリックします。
Windowsが再起動します。

インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップ機能を削除せずWindows NTの画面に近づける

次の操作をすると画面はWindows NT 4.0に近いものになります。

- 1 「マイコンピュータ」を開き、「表示」メニュー 「フォルダオプション」をクリックします。
「フォルダオプション」の画面が表示されます。
- 2 「全般」ウィンドウの「従来のWindowsスタイル」を選択し「OK」ボタンをクリックします。

コマンドプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。

画面の色がおかしい

Windows NTの画面の表示色を256色にしていると、アプリケーションによっては画面の色が正しく表示されない場合があります。次の操作をすると正しく表示されることがあります。

- 1 デスクトップ上の何もないところで右クリックします。
- 2 表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」「Webページで表示」をクリックします。
「Webページで表示」の左にチェックが付いていないことを確認してください。

NXパッド

NXパッドの拡張機能を使用したい

NXパッドの拡張機能を使用したい場合は、NXパッドのドライバをインストールしてください。

参照 NXパッドドライバのインストールについて 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「NXパッド」

NXパッドを操作しても、何も反応しない

キーボードの【Shift】などを押すと反応するとき

☹️➡️😊 指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

☹️➡️😊 NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

☹️➡️😊 NXパッドを使用しない設定になっていませんか？

BIOSセットアップメニューの「拡張セットアップ(Advanced CMOS Setup)」の「NXパッド(Internal Mouse)」を「使用する(Enabled)」に設定してください。

参照 BIOSセットアップメニューの設定 『活用ガイド ハードウェア編』のPART3「システムの設定」

キーボードのキーを押しても反応しないとき

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形 ⌚ に変わっていませんか？

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

☹️➡️😊 しばらく待っても、NXパッドの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。
Windowsの処理を止めているアプリケーションを強制終了してください。
このとき、保存されていないデータは消去されます。

参照 ➡️ 強制終了するときには「強制的に終了させたい」(p.89)

タップ&ドラッグができない

☹️➡️😊 「マウスのプロパティ」で「タッピング」を ☐ (オフ) に設定していませんか？


マウスのタッピング設定が ☐ (オフ) になっているとタップ&ドラッグができなくなります。

次の手順に従って設定を変更してください。

- 1 「コントロールパネル」を開き「マウス」アイコンをダブルクリックします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「タッピング」タブの「タッピング」をクリックして ☒ (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。

文字入力

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形  に変わっていませんか？


マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。


☹️➡️😊 しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき

プログラムに異常が発生して動かなくなった（フリーズした）と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 強制終了をするときには「強制的に終了させたい」(p.89)


キーボードで押したキーと違う文字が表示される

☹️➡️😊 キャップスロックキーランプ() が点灯していませんか？

キャップスロックキーランプ() が点灯している状態で【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してランプを消すと、キャップスロックが解除され、【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

☹️➡️😊 ニューメリックロックキーランプ() が点灯していませんか？

ニューメリックロックキーランプ() が点灯しているときにはキー前面に印字されている数字や記号が入力されます。【Num Lock】を押すと、ニューメリックロックが解除され、キー上面の文字が入力される状態になります。

☹️➡️😊 入力したいモードになっていますか？

日本語入力と英字入力を切り換えたいときは、【Alt】を押したまま【半角 / 全角】キーを押します。

かな入力とローマ字入力を切り換えたいときは、日本語入力モードのときに【Alt】を押したまま【カタカナ ひらがな】を押します。

記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「アクセサリ」の「文字コード表」をクリックします。

「文字コード表」ウィンドウが表示されます。



- 2 文字コード表の文字をダブルクリックして「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。



貼り付け先でフォントの再指定が必要な場合があります。



文字コード表の使いかた 文字コード表のヘルプ



ファイル保存

保存できない

ハードディスクに保存しようとしたとき

☹️➡️😊 ディスクの空き領域を確認してください

「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.109)に従って空き領域を増やしてください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクに保存しようとしたとき

☹️➡️😊 フロッピーディスクやスーパーディスクがライトプロテクトされていませんか？
ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

参照 ライトプロテクトを解除するには 「読み込みはできるが、書き込みができない」
(p.107)

☹️➡️😊 ディスクの空き領域を確認してください

ディスクの空き領域が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

ネットワーク(LAN)

ネットワークへの接続方法が分からない

『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。リンクケーブルを接続してください。また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない

☹️➡️😊 接続は正しくできていますか？

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB(ハブ)がリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

☹️➡️😊 設定が間違っていないですか？

プロトコルやドメインワークグループ等の設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

☹️➡️😊 ネットワーク関連機能サービス(サービス、プロトコル等)を新しく追加した後にServicePackを適用するのを忘れていませんか？

イベントビューアに「Serverサービスは次のエラーのため終了しました。このコマンドを処理するのに必要な記憶領域をサーバ側で確保できません」とエラー表示されていたら、ServicePackをもう一度適用した後に、再起動してください。

ネットワークコンピュータに「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

ネットワークコンピュータに自分のコンピュータしか表示されない
接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンで調べることができます。

共有ドライブやフォルダが使えない



お客様のコンピュータが共有を行う設定になっていますか？

共有ドライブ、フォルダを設定してください。ネットワークに接続された他のコンピュータからお客様のコンピュータを利用するには、「共有する」の設定が必要です。

利用したいドライブ、フォルダを右クリックし、表示されたメニューの中から「共有」をクリックしてください。共有設定が行われるとドライブやフォルダのアイコンが変わります。



共有ドライブやフォルダにアクセス権が設定されていますか？

共有ドライブやフォルダには、その所有者がアクセス権を設定できるようになっています。アクセス権が設定されている場合、全く利用できないか、読み取りのみ可能な設定、読み取りも書き込みも可能な設定と、いくつかのパターンが設定されます。



お客様が共有を設定した当初は「フルコントロール」の設定になっています。他のユーザから読み取りも書き込みもできます。

【F12】を押してもネットワークブートができない

「NEC」のロゴ画面で【F12】を押し続けてもネットワークブート処理が実行されないことがあります。この場合、再度【F12】を押しながら電源を入れてください。

赤外線通信

赤外線通信できない

- ☹️➡️😊 本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか？
お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20～80cmの距離のところに置いてください。
- ☹️➡️😊 デバイスを正しく設定していますか？
『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧ください。正しい設定を行ってください。
- ☹️➡️😊 BIOSセットアップメニューの設定は正しいですか？
ワイヤレスモデルおよび内蔵指紋センサモデルの場合、BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動(Auto)」に設定し、「赤外線ポート切り替え(IR Port Switch)」を「IR」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。
それ以外のモデルの場合、BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動(Auto)」に設定しないと、赤外線通信機能は使用できません。

印刷

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

☹️➡️😊 プリンタの電源は、入っていますか？

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

☹️➡️😊 接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか？

『活用ガイド ハードウェア編』のPART2の「プリンタ」とプリンタのマニュアルに従って、本機とプリンタを接続し直してください。

☹️➡️😊 プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになっていませんか？

プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。

☹️➡️😊 プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

☹️➡️😊 プリンタのテスト印字はできますか？

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

☹️➡️😊 プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？

プリンタによっては、プリンタの製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルを見て、ケーブルを確認してください。

☹️➡️😊 プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？

新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

参照 ▶ プリンタドライバのセットアップ プリンタのマニュアル

☹️➡️😊 プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照 ➡️ プリンタドライバの設定 プリンタのマニュアル

☹️➡️😊 デバイスの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューの「パラレルポート(Parallel Port)」を「使用しない(Disabled)」設定にしている場合は、設定を解除してください。

参照 ➡️ デバイスの設定 『活用ガイド ハードウェア編』のPART3「システムの設定」

フロッピーディスク / スーパーディスク

フロッピーディスクを使用できない

☹️➡️😊 フロッピーディスクのフォーマットの種類が640Kバイトになっていませんか？

640Kバイトでフォーマットされたフロッピーディスクは使えません。720Kバイト、1.2Mバイト、または1.44Mバイトでフォーマットされたフロッピーディスクを使ってください。

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルクリックしたが、ディスクの内容が表示されない

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。

同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、ディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってヘッドをクリーニングしてください。クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてください。

このとき、他のディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。

✔️**チェック!!** 他のディスクをセットしても内容が表示されないときは、ディスクドライブの故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

メモ

ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。

クリーニングディスクについては、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、またはフォーマットされていません。

ディスクに必要なファイルがはいっていないければ、そのまま「はい」をクリックしてフォーマットするか、コマンドプロンプトを起動し、FORMATコマンドを利用してフォーマットしてください。

例:FORMAT<ドライブ名>:/ F:1.44 など

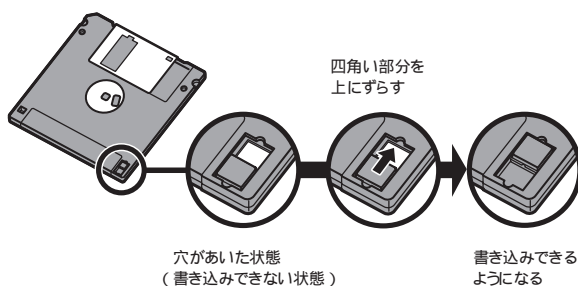
読み込みはできるが、書き込みができない

ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

メモ

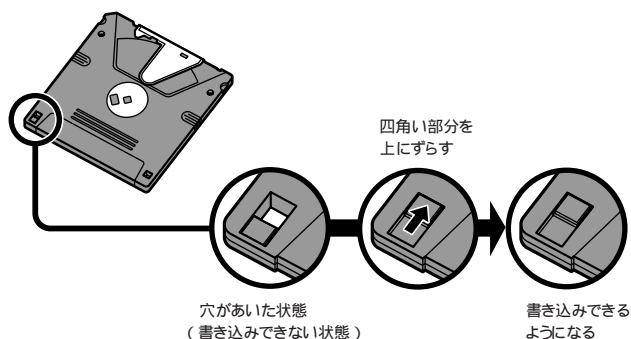
ディスクには、記録されている内容を間違って消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能(ライトプロテクト機能)があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるようにずらしてください。

フロッピーディスクの場合



システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

スーパーディスクの場合



システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない (ハイスペックノートのみ)

☹️➡️😊 パソコンの電源が入っているか確認してください

パソコンの電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れができません。

電源が入っているのにスーパーディスクを取り出せないときは、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「フロッピーディスクドライブ / スーパーディスクドライブ」をご覧ください、スーパーディスクを取り出してください。

ハードディスク

ハードディスクの空き領域が足りない

ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。


「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。「ごみ箱」を空にすると、「ごみ箱」に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。「ごみ箱」を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。

「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」のウインドウで行います。

「(スライダー)を左の方に動かして「ごみ箱の最大サイズ」を調整します。

 **チェック!!** 「ごみ箱」の最大サイズを0%にすると、削除したファイルは「ごみ箱」に保管されずに消えてしまいます。

TEMPフォルダの中身を削除する

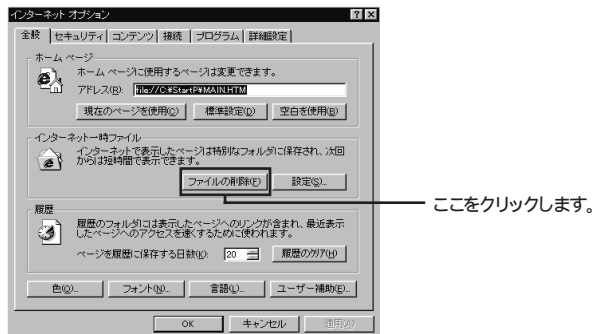
アプリケーションによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイル)を作成します。このファイルは、通常は、終了時に消去されますが、アプリケーションを強制終了すると、削除されません。一時作業用ファイルは、通常、TEMPフォルダに作られます。

インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除するにはインターネットエクスプローラで、すでに表示したページを後でご覧になる必要がないときは、次の方法でハードディスクの空き領域を増やすことができます。

1 「インターネットエクスプローラ」を起動します。

2 「表示」メニュー 「インターネットオプション」を選びます。

3 「全般」タブ 「インターネット一時ファイル」の「ファイルの削除」ボタンをクリックします。



4 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

メモ

アプリケーションソフトを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションソフトが動かなくなることがあります。

インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。

参照

- ・添付アプリケーションの削除 PART2の「削除のしかた」
- ・別売のアプリケーションの削除 アプリケーションに添付のマニュアル

ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない

削除した「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。

領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1 M バイト=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域確保するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。GB(ギガバイト)についても同様の記述となっています。

ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい

ハードディスクを長時間使用している間に、まれにハードディスク自体や保存されているデータに障害を起こすことがあります。しかし、小さな障害であれば、付属のユーティリティを使うことですぐに復旧することができます。小さな障害であっても、放置すると被害が拡大する恐れがあります。これを防ぐために、こまめにハードディスクをメンテナンスしてください。メンテナンスをするためのユーティリティには、ドライブのエラーをチェックするためのエラーチェックプログラムがあります。

エラーチェックプログラムについて

エラーチェックプログラムを使うと、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに障害がないかどうか調べることができます。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

不良セクタ、スキップセクタについて

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所があることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。エラーチェックプログラムを実行すると「不良セクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタを使わないように予防されたことを表しており、異常ではありません。

CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-ROM

トレイを出し入れできない

☹️➡️😊 パソコンの電源は、入っていますか？

パソコンの電源を入れて、イジェクトボタンを押してください。

電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのにディスクトレイが出てこない場合は、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」をご覧ください。ディスクを強制的に取り出してください。

ディスクをセットしても自動起動しない

☹️➡️😊 ディスクは、自動起動に対応していますか？

自動起動に対応していないディスクは自動起動できません。ディスクのマニュアルで確認してください。

対応していないときは、Windowsのデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックして起動してください。

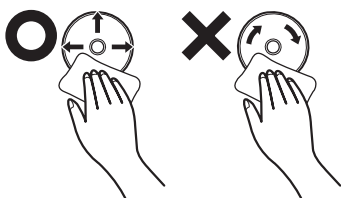
ディスクのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

☹️➡️😊 ディスクは正しくセットされていますか？

ディスクの表裏を確認して、ディスクトレイの中心にセットしてください。

☹️➡️😊 ディスクが汚れていませんか？

ディスクが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。



☹️➡️😊 ディスクに傷が付いていませんか？

傷がついているディスクは使えないことがあります。



添付されているディスクに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

☹️➡️😊 ディスクがセットされているドライブに何らかの振動を与えませんでしたか？

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

☹️➡️😊 このパソコンで使えるディスクかどうか確認してください

このパソコンで使えるディスクを使ってください。

アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。

☹️➡️😊 音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしませんでしたか？

音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。

音楽CDの再生中はフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしないでください。

音楽CD再生中に音楽が止まってしまう

音楽CD再生中に省電力機能などが働くと、音楽が止まってしまいます。音楽CDを再生するときは、省電力機能やパワーマネジメント機能をオフに設定してください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

☹️➡️😊 動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。


動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつけなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

☹️➡️😊 再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止して操作してください。

CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

このパソコン本体に標準で装備されているCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号は、Eドライブに設定されています。ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」 「管理ツール(共通)」 「ディスクアドミニストレータ」をクリックします。
- 2 「初めてディスクアドミニストレータを実行するか、または前回の実行後に1つ以上のディスクがコンピュータに追加されたと判断しました。」と表示された場合には、「OK」ボタンをクリックします。
- 3 「ディスク0に署名がありません。」と表示された場合は、「はい」をクリックします。
ディスクアドミニストレータが起動します。
- 4 CD-ROMの領域を選択して、「ツール」メニューの「ドライブ文字の割り当て」をクリックします。
- 5  をクリックして、表示された一覧の中から選びます。



ここをクリックします。

- 6 「OK」ボタンをクリックします。
「新しいドライブ文字の割り当ては、今すぐ行われます。続行しますか？」のメッセージが表示されます。
- 7 「はい」をクリックします。
- 8 「ディスクアドミニストレータ」を終了させます。

CD-R/CD-RWに書き込み中にエラーになった(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)

☹️➡️😊 書き込み中にスクリーンセーバーが起動したり、本機がサスペンド状態になったりしませんでしたか？

Easy CD Creatorなどのトラックアットワンス方式やディスクアットワンス方式のCD-R書き込みソフトを使って、CD-R/CD-RWにデータの書き込みを行う場合、他のアプリケーションが起動していると書き込みエラーになることがあります。

CD-R/CD-RWに書き込みを行う場合には、以下の操作をおすすめします。

- ・ スクリーンセーバーを起動させないようにする
- ・ サスペンド状態に移行させないようにする
- ・ 他のアプリケーションを終了する
- ・ 常駐プログラムをオフにする

☹️➡️😊 ACアダプタを接続していますか？

CD-R/CD-RWにデータを書き込んでいるときにバッテリーの残量がなくなると、データの書き込みに失敗します。CD-R/CD-RWにデータを書き込むときには、かならずパソコンにACアダプタを接続してお使いください。

周辺機器

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった

☹️➡️😊 正しく接続されていますか？

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。

☹️➡️😊 割り込みレベルなどの設定は正しいですか？

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャネルなどの設定が必要なものがあります。

周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。

割り込みレベル、DMAチャネルなどについては、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャネル」を参照してください。

メモ 周辺機器の割り込みやドライバなどの設定をWindowsで確認する
「スタート」ボタン「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」の順にクリックし、「Windows NT診断プログラム」の「リソース」タブで確認します。

☹️➡️😊 周辺機器の設定は正しいですか？

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やデバイスドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 ・周辺機器のマニュアル
・『活用ガイド ハードウェア編』のPART2「周辺機器を使う」

アプリケーション

パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない

☹️➡️😊 リソースが不足していませんか？

パソコンのシステムリソースが不足すると動作が不安定になり、フリーズすることがあります。システムリソースの空き容量を確認してください。リソース不足の場合は以下の操作を行い、システムリソースの空きを確保してください。

起動中のアプリケーションを終了する

複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースが少なくなります。起動中のアプリケーションを終了してください。

また、ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合にも、パソコンの動きが遅くなることがあります。この場合は、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。また、終了させたいアプリケーションがアクティブになっておらず、選択できないときは、次の手順でアプリケーションを終了してください。

1 【Alt】を押しながら【Tab】を押します。

ウィンドウが表示されます。

2 【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】を離します。

3 タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックします。
メニューが表示されます。

4 「閉じる」をクリックします。

これでアプリケーションを終了することができます。

作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

常駐プログラムを終了する

画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)にある使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了する項目(アプリケーションによって異なりますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了してください。



アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合



アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合があります。この場合は、Windowsを再起動してください。

常駐アプリケーションを非常駐にする

以上の操作をしても問題が解決しない場合、次の手順で常駐アプリケーションを非常駐にしてください。

- 1 「スタート」ボタン 「プログラム」「スタートアップ」をクリックし、非常駐にしたい常駐アプリケーションを右クリックします。
- 2 「削除」をクリックします。
メッセージが表示されます。
- 3 「はい」をクリックします。
- 4 「スタート」ボタン 「シャットダウン」をクリックします。
- 5 「再起動する」を選択し、「OK」をクリックします。
本機が自動的に再起動します。
これで常駐アプリケーションが非常駐になります。

 ➡  そのアプリケーションはサスペンド/レジューム機能に対応していますか?
対応していないアプリケーションでこの機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、サスペンド状態にしないでください。
省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、電源スイッチを約4秒以上操作し続けて、強制的に電源を切ってください。

 ➡  アプリケーションの削除をしませんでしたか?
アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。
それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

アプリケーションが起動しない

☹️➡️😊 そのアプリケーションはサスペンド / レジューム機能に対応していますか？

対応していないアプリケーションでこの機能を使うと、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、サスペンド状態にしないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、電源スイッチを約4秒以上操作して、強制的に電源を切ってください。

☹️➡️😊 アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？

複数のアプリケーションを同時に起動している場合

すでに複数の他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合

ファイルサイズの大きい壁紙を使用しているとメモリが不足してアプリケーションを起動できなくなることがあります。お使いの壁紙のファイルサイズを確認し、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックして表示される「画面のプロパティ」ウィンドウで画面の表示色を変更してください。

アプリケーションをインストールできない



アプリケーションがこのパソコンに対応していますか？

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。



アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールしてください。



Windows NT対応と表示されていないMS-DOS、または、Windows 3.1用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

Windows NT対応と表示されていないMS-DOS、Windows 3.1用のアプリケーションはインストールできません。

その他

日付と時刻を確認する

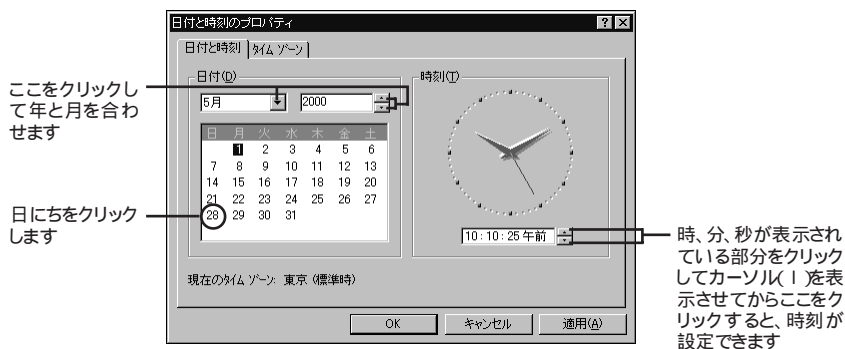
☹️➡️😊 内蔵のカレンダー用電池が十分に充電されていますか？

本機の内蔵時計はカレンダー用電池で動いています。内蔵のカレンダー用電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しなかった後などには、本機のACアダプタを約40時間以上接続したままにしてカレンダー用電池を充電してから、次の手順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

1 「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 正しい日付と時刻をそれぞれクリックして選びます。



3 「OK」ボタンをクリックします。

これで正しい日付と時刻が設定されました。

2000年問題について知りたい

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

用 語 2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00になってしまい、日付をキーに期間計算などの結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。うえ、最寄りのNECフィールドイングの各支店、営業所などにご連絡ください。

ウイルスの駆除や届出について詳しくはp.72～75をご覧ください。

Windows 2000を利用したい

PART5の「Windows 2000 Professionalを使う」(p.128)をご覧ください。Windows 2000をインストールしてご利用ください。なお、本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアはWindow 2000では利用できません。

インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない

ダイヤルアップネットワーク接続の場合、インターネットエクスプローラを終了しても、回線が接続されたままになることがあります。回線の切断が必要な場合は、インジケータ領域(タスクトレイ)の「ダイヤルアップネットワーク」アイコンを右クリックし、「切断」をクリックしてください。

「追加情報 READMEファイル」を参照したい

「スタート」ボタン「プログラム」「追加情報」をご覧ください。

P A R T

5

付録

ここでは、機器の機能に関連した補足情報を記載してあります。

他のOSを利用する

Windows Meを使う

チェック!! 本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows Meでは利用できません。

本機で別売のWindows Meを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして、「¥WIN98¥SETUPME.TXT」をご覧ください。

また、Windows Meをセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。

ドライバのセットアップ方法について詳しくは、各ドライバの格納フォルダにある「SEUPME.TXT」をご覧ください。

- ・セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。
- ・ドライバのセットアップを行うとき、コントロールパネルに目的のアイコンが存在しない場合があります。その場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

コンパクトオールインワン ノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥WIN98¥MD19QME
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (モデム/LAN同時搭載のモデル)	¥WIN98¥MDXIRME
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥RAGE_ME
モニタの設定	¥WIN98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥WIN98¥MFNB¥MF6BAPS

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
NX パッド	¥WIN98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ	¥WIN98¥3MODEFD2
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥YMF743
自動メール受信ユーティリティ	¥WIN98¥AMR
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN98¥IRSMCME
携帯電話 / PHS 接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC3ME


1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

ハイスpek ノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥WIN98¥MDCRBAME
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥SAVIXME
モニタの設定	¥WIN98
NX パッド	¥WIN98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ	¥WIN98¥3MODEFD1
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥ES1978S
携帯電話 / PHS 接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC3ME

1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

Windows 98/Windows 98 Second Editionを使う

 **チェック!!** 本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows 98/Windows 98 Second Editionでは利用できません。

本機で別売のWindows 98を使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして、下記のファイルをご覧ください。

・Windows 98の場合

¥WIN98¥SETUP98.TXT

- ・ Windows 98 Second Editionの場合

¥WIN98¥SETUPSE.TXT

また、Windows 98/Windows 98 Second Editionをセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。

ドライバのセットアップ方法について詳しくは、各ドライバの格納フォルダにある下記のファイルをご覧ください。

- ・ Windows 98の場合

SETUP98.TXT

- ・ Windows 98 Second Editionの場合

SEUPSE.TXT

セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。



チェック!! PCカード(PCMCIA)の設定のセットアップは、Windows 98をインストールした場合のみに必要になります。Windows 98 Second Editionをインストールした場合は必要ありません。

コンパクトオールインワン ノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
プラグ&プレイの設定	¥WIN98¥CHIPSET
PCカード(PCMCIA)の設定	¥WIN98¥PCMCIA
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥WIN98¥MD19Q9X
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (モデム/LAN同時搭載のモデル)	¥WIN98¥MDX1R9X
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥RAGE_98
モニタの設定	¥WIN98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥WIN98¥MFNB¥MF6BAPS
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ ¹	¥WIN98¥3MODEFD2

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
MS-DOSモード用CD-ROMドライバ	¥WIN98¥CDROM
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥YMF743
自動メール受信ユーティリティ	¥WIN98¥AMR
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN98¥IRSMC98
携帯電話 / PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC398
ハイパーネーション設定ユーティリティ ²	¥WIN98¥NECUTILS¥HDPREP

1 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

2 セットアップ方法については「SETUP98.TXT」をご覧ください。


ハイスペックノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
プラグ&プレイの設定	¥WIN98¥CHIPSET
PCカード(PCMCIA)の設定	¥WIN98¥PCMCIA
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥WIN98¥MDCRBA9X
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥SAVAGEIX
モニタの設定	¥WIN98
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD
スーパーディスクドライバ	¥WIN98¥LS120
3モード対応フロッピーディスクドライバ ¹	¥WIN98¥3MODEFD1
MS-DOSモード用CD-ROMドライバ	¥WIN98¥CDROM
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥ES1978S
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN98¥IRNSC98
携帯電話 / PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC398
ハイパーネーション設定ユーティリティ ²	¥WIN98¥NECUTILS¥HDPREP

1 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

2 セットアップ方法については「SETUP98.TXT」をご覧ください。

Windows 2000 Professionalを使う

 **チェック!!** 本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows 2000では利用できません。

本機で別売のWindows 2000 Professionalを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして下記のファイルをご覧ください。

- ・ OSのセットアップ手順
¥WIN2K¥Setup.txt
- ・ セットアップ時の注意事項
¥WIN2K¥Readme.txt

また、Windows 2000 Professionalをセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。

各ドライバのセットアップ方法について詳しくは、下記の各フォルダにある「SETUP.TXT」をご覧ください。

セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。

コンパクトオールインワン ノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
NX パッド	¥WIN2K¥SLIDEPAD
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN2K¥MOBILITY
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN2K¥YMF743
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN2K¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (モデム/LAN同時搭載のモデル)	¥WIN2K¥XCMODEM
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥WIN2K¥LTMODEM2
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN2K¥PHS
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN2K¥IRSMC2K
携帯電話 / PHS接続機能ドライバ	¥WIN2K¥MMC3
ワンタッチスタートボタンの設定	¥WIN2K¥MFNB

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
自動メール受信ユーティリティ	¥WIN2K¥AMR
3モード対応フロッピーディスクドライバ(Type J)	¥WIN2K¥3MODE

1. 2MBのフロッピーディスクの読み書きやフォーマットをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

ハイスペック ノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
NX パッド	¥WIN2K¥SLIDEPAD
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN2K¥SAVAGEIX
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN2K¥MAESTRO2
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN2K¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥WIN2K¥LTMODEM
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN2K¥IRNSC2K
携帯電話 / PHS接続機能ドライバ	¥WIN2K¥MMC3
3モード対応フロッピーディスクドライバ(Type G)	¥WIN2K¥3MODE

1. 2MBのフロッピーディスクの読み書きやフォーマットをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

アフターケアについて

保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。



チェック!!

- ・ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。
- ・故障箇所によっては、本機ご購入後にハードディスクドライブやメモリ内に保存されたデータを完全には復旧できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です(有料)

- ・フロッピーディスク
- ・CD-ROM

■ パソコンの型名などは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリーパック フロッピーディスク CD-ROM(媒体)
消耗部品 (有償交換部品)	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECフィールディングの各支店、営業所などで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	液晶ディスプレイ

本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「お客様登録」を行ってください。

譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。

本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください)



チェック!!

- ・パソコン内のデータには、個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。
- ・ご登録されている製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、121ware登録センター(TEL: 0120-469-121)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。

譲渡を受けられるお客様へ

「お客様登録」に必要な次ページの事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。

ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。



チェック!!

- ・「お客様登録申込書」が未使用で残っていても、「お客様登録申込書」は使わないでください。

記載内容

本体型名および保証書番号(本体背面または本機底部に記載の製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No. (いずれのソフトも同一)

「Serial No. 」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

返送先

〒183 - 8501 東京都府中市日新町一丁目10番地(NEC府中事業場)
NEC 121ware登録センター係行

本機の廃棄方法について

ハイスペックノートの場合

・ 本機の所有者が事業者の場合

本機を廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しましては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。

また、当社では、本機の回収・リサイクルシステムを準備しております。廃棄と回収・リサイクルシステムについては「マニュアルCD-ROM」の『環境ガイド』をご覧ください。

・ 本機の所有者が個人の場合

本機を廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。

その他のモデルの場合

地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



索引

トラブル解決 Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたとき

セットアップの画面が表示されない	82
セットアップの画面が表示されずに、メッセージが表示された	82
セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった	83
セットアップ時に登録した名前や組織名を変更したい	83

電源を入れたとき

「Invalid system disk Replace the disk,...」というエラーメッセージが表示される	84
ディスプレイに何も表示されない	84
電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる	85
Windows NTが起動しない	85
「Checking file system on X:」と表示される	86
起動時、「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された	86
パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される	87
パスワードを忘れてしまった	87



電源を切るとき

正しい電源の切りかたを知りたい	89
強制的に終了させたい	89

省電力機能

レジュームしたが、サスペンドする前の状態の画面が表示されない	91
レジュームしたときに、何も画面に表示されない	91
サスペンドできない	92
自動的にサスペンドしない	92
サスペンドしておいたデータをレジュームさせようとしたら、画面が乱れて電源が切れた	92

バッテリー

ACアダプタを接続してもバッテリーの充電がはじまらない	93
フル充電したのにバッテリー充電ランプ()が点灯する	93
バッテリー充電ランプ()が点滅する	93

表示

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる	94
インターネットエクスプローラのアクティブ デスクトップではなく、Windows NTの画面にしたい(Internet Explorer 4.01 SP2の場合)	94
コマンドプロンプト画面がフルスクリーンになってしまった	95
画面の色がおかしい	95

NXパッド

NXパッドの拡張機能を使用したい	96
NXパッドを操作しても、何も反応しない	96
タップ&ドラッグができない	97

文字入力

キーボードのキーを押しても、何も反応しない	98
キーボードで押したキーと違う文字が表示される	98
記号などで入力できない文字がある	99

ファイル保存

保存できない	100
--------------	-----

ネットワーク(LAN)

ネットワークへの接続方法が分からない	101
ネットワークに接続できない	101
共有ドライブやフォルダが使えない	102
【F12】を押してもネットワークブートができない	102

赤外線通信

赤外線通信できない	103
-----------------	-----

印刷

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される	104
--	-----

フロッピーディスク / スーパーディスク

フロッピーディスクを使用できない	106
「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルクリックしたが、ディスクの内容が表示されない ..	106
読み込みはできるが、書き込みができない	107
スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない(ハイスペック ノートのみ)	108

ハードディスク

ハードディスクの空き領域が足りない	109
ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない	110
領域確保できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない	111
ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい	111

CD-ROM / CD-R / CD-RW / DVD-ROM

トレイを出し入れできない	112
ディスクをセットしても自動起動しない	112
ディスクのデータを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする	112

音楽CD再生中に音楽が止まってしまう	113
再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない	113
CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号 を変えたい	114
CD-R/CD-RWに書き込み中にエラーになった(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD- ROMモデルのみ)	115

周辺機器

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが 起動しなくなった。他の機能が使えなくなった	116
--	-----

アプリケーション

パソコンの動作が遅い。パソコンが動かない	117
アプリケーションが起動しない	119
フルカラーにするようにというメッセージが表示された	119
アプリケーションをインストールできない	120

その他

日付と時刻を確認する	121
2000年問題について知りたい	122
コンピュータウイルスが検出された	122
Windows 2000を利用したい	122
インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない	122
「追加情報 READMEファイル」を参照したい	122

索引

英字

2000年問題 122
Acrobat Reader 22, 46, 64
CD-R 112
CD-ROM 112
CD-RW 112
CyberAccess 30, 48, 66
DirectCD 21, 45, 64
DVD-ROM 112
Easy CD Creator 22, 45, 64
Excel 2000 18, 19, 42, 60
Intel® LANdesk® Client Manager 6
(with NEC Extensions).... 34, 50, 67
Intellisync 22, 47, 65
Masty Data Backup 35, 52, 67
NXパッド 96
Office 2000 Personal 18, 42, 58
Office 2000 Professional 19, 42, 60
Outlook 2000 18, 19, 42, 60
Outlook Express 21
pcAnywhere 9.2 EX 36, 52, 68
PGP Personal Privacy 36, 53, 69
VirusScan 28, 48, 66, 74
Windows 98 125
Windows 2000 Professional 128
Windows Me 124
Word 2000 18, 19, 42, 60

あ行

アイコン 56
アフターケア 130
アプリケーション 16, 117
インターネットエクスプローラ 20, 43
インターネット設定切替ツール . 21, 44, 63
印刷 104
ウイルス 72

か行

キーボード 98
強制的に電源を切る方法 90
コンピュータウイルス 72, 122

さ行

削除 55, 58
システムリソース 117
周辺機器 116
省電力機能 91
スーパーディスク 106
赤外線通信 103

た行

追加 40, 42
電源 84, 89
トラブルチェックシート 139

な行

ネットワーク 101

は行

ハードディスク 79, 109
パスワード 87
バックアップ 76
バッテリー 93
表示 94
ファイル 100
プリンタ 104
フロッピーディスク 106

ま行

マニュアルCD-ROM 27
メンテナンス 79
文字コード表 99

ら行

ライトプロテクト 107
リソース 117

わ行

ワンタッチスタートボタン 38

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート 1 あなたのパソコンの構成	
ハードウェア	
本体	
型名	
製造番号(パソコンの底部に 記載されています)	
メモリの容量	MB (メガバイト)
ハードディスクの容量	GB (ギガバイト)
ハードディスクの空き領域	GB (ギガバイト)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには、マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用領域や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名(メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PC カード	
その他の周辺機器	
ソフトウェア	
OS のバージョンと発売メーカー	
Windows Me (バージョン)
Windows 98 (バージョン)
Windows 2000 (バージョン)
Windows NT 4.0(バージョン)
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション	

トラブルチェックシート2 具体的なトラブルの内容

どんなトラブルが起きましたか? トラブルの内容を書いてください。

画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか?
メッセージや番号を書いてください。

そのトラブルはどんなときに起きましたか?

パソコンを起動するたびに起きる

そのアプリケーションを起動するたびに起きる

特定の操作を行うと起きる

はじめて起きた

その他に気づいたことがあれば書いてください。



活用ガイド

ソフトウェア編

PC98-**NX** SERIES

VersaPro

(Windows NT® 4.0 インストール)

初版 2001年1月

NEC

P

853-810028-081-A